

昭和63年度水稻作関係 除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

昭和63年度水稻作関係除草剤試験成績中央検討会は、昭和63年12月15～16日の2日間、東京・国労会館において開催された。なお、適1試験は中央検討会に先がけ、昭和63年10月12日植調会館にて開催された。これらの結果の概要を報告する。

1) 第1次適用性試験(適1)試験について

昭和63年度の適1試験は、北海道地域(植調岩見沢試験地)、東北地域(植調古川試験地)、北陸地域(植調新潟第1試験地)、関東地域(植調研究所)、近畿地域(植調滋賀試験地)、中国地域(植調広島試験地)、九州地域(植調佐賀試験地)の全国7地域で47薬剤(のべ264点)について実施した。その判定結果は、第1表のとおりである。

2) 第2次適用性試験(適2)試験について

昭和63年度の適2試験は、次のような試験区

分で実施した。すなわち、稚苗移植栽培の移植前後土壌処理(Ⅱ-2, 2剤6点)、移植後土壌処理(Ⅱ-3, 26剤287点)、茎葉兼土壌処理(Ⅱ-4, 1剤13点)、適用時期拡大(Ⅱ-5, 13剤127点)、特殊雑草防除(Ⅱ-6, のべ35剤212点、クログワイ徹底防除21剤104点)、湛水直播栽培用(Ⅲ-1, 4剤24点)、乾田直播栽培用(Ⅲ-2, 2剤6点)、畦畔雑草用(Ⅳ, 10剤74点)、耕起前雑草用(Ⅴ, 5剤31点)、休耕田雑草用(Ⅵ, 1剤5点)、初期一発処理剤(Ⅶ-1, 25剤323点)、初・中期一発処理剤(Ⅶ-2, 19剤318点)、長期持続型一発処理剤(Ⅶ-3, 8剤58点)、少量散布(Ⅷ, 3剤9点)の総のべ点数が1,494点であった。これら適2試験の判定結果は第2表、実用化可能と判定された除草剤の使用基準は第3表のとおりである。

第1表 昭和63年度水稻作関係除草剤適1試験成績判定結果一覧表

No.	薬剤名・剤型 〔委託会社名〕	有効成分および 含有率(%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 〔今後の課題点等〕
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	中国	九州	
1.	CCB-15 粒 〔シェル化学・油化*〕	MY-15 1.5 SKH-301 0.1 プロモブチド 2.0	○	○	○	△		△	□	寒地・寒冷地○ノビエ2Lまで (一年生・マツバイ・ホタルイ) 温暖地以西□〔薬害軽減化〕
2.	CCB-15® 粒 〔シェル化学・油化*〕	MY-15 1.5 SKH-301 0.1 プロモブチド 3.0		○		△		△		△〔効果・薬害〕

No	薬 剤 名 ・ 剤 型 〔委託会社名〕	有効成分および 含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中 央 判 定 結 果 〔今後の課題点等〕
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	中国	九州	
3.	CG-164 粒 〔日本チバガイギー〕	プレチラクロール 2.0 CG-148 0.15	□	○	○	△	○	△	△	寒冷地・温暖地東部○ノビエ2Lまで(但し、ミズガヤツリは早めに使用) その他△〔効果・薬害〕
4.	CPS-162 粒 〔ジェル・住友・三共*〕	SKH-301 0.1 ピラゾレート 6.0 プロモブチド 2.0	○	○	○	□	□	△	□	寒地・寒冷地○ノビエ2Lまで 温暖地以西□〔薬害軽減化〕
5.	DH-101 粒 〔ダウケミカル日本〕	未公開(新規) 1.0	□	△	□	□	□ △	□	□	全域□ノビエ2Lまで(ノビエ・一年生カヤツリグサ科対象、混合母剤として)
6.	DH-104 粒 〔ダウケミカル日本〕	DH-101(未) 1.0 未公開(既知) 1.0	□	□	□	△	□ △	△	×	全域△〔効果・薬害〕
7.	DM-72B 粒 〔日本モンサント〕	BAS-514 1.0 MON-72 0.3 未公開(既知) 0.25	□	◎						寒地・寒冷地○ノビエ2～2.5Lまで〔ウリカワに対する効果確認〕
8.	DM-72B① 粒 〔日本モンサント〕	BAS-514 1.0 MON-72 0.3 未公開(既知) 0.17			○	◎		○ △ ◎	△	寒冷地南部以西○ノビエ2.5Lまで
9.	DPX-21 粒 〔デュポンジャパン〕	ベンスルフロンメチル 0.085 DPX-T76(新規) 0.007	×	□	○	△		△	×	全域△〔効果・薬害〕
10.	DPX-84SKH①粒 〔DPX-SKH研: 北興化学〕	ベンスルフロンメチル 0.25 SKH-301(シンメスリン) 0.2	○	○						寒地・寒冷地○ノビエ1.5Lまで
11.	FMS-843 粒 〔サンケイ化学〕	ベンゾフェナップ 4.0 プロモブチド 3.0 未公開(新規) 0.8	○	○	○	△		○	○	全域△〔使用量-薬害〕
12.	KH-248 粒 〔アグロカネショウ〕	KH-218 2.0 ピラゾレート 6.0	□	○	○ △ □	□		○	○	全域○ノビエ2Lまで(一年生・マツバイ・ホタルイ), ノビエ1～1.5L(一年生・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ)
13.	KH-249 粒 〔アグロカネショウ〕	KH-218 1.5 ピラゾレート 6.0 ACN 3.0	○	○	○	□		○	○	全域○ノビエ2Lまで(一年生・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・藻類・表土剥離)
14.	KUH-882 粒 〔クミアイ化学工業〕	KUH-871(未) 3.0 ベンスルフロンメチル 0.25 既知 2.0	○	◎		◎				寒地～温暖地東部○～◎ノビエ2.5Lまで

No	薬 剤 名 ・ 剤 型 〔 委 託 会 社 名 〕	有効成分および 含 有 率 (%)	試験実施場所別総合評価							中 央 判 定 結 果 〔 今 後 の 課 題 点 等 〕
			北 海 道	東 北	北 陸	関 東	近 畿	中 国	九 州	
15.	KUH-882① 粒 〔クミアイ化学工業〕	KUH-871(未) 2.0 ペンシルフロンメチル 0.17 既知 1.5			○	○		○	○	寒冷地南部以西○ノビエ2Lまで
16.	KUH-883 粒 〔クミアイ化学工業〕	ベンチオカーブ 5.0 メフェナセット 1.5 ペンシルフロンメチル 0.25	○	◎		◎				寒地～温暖地東部○～◎ノビエ2Lまで
17.	MT-334 粒 〔三井東圧化学〕	MT-128 4.0 BAS-514 0.9 NC-311 0.07	○	◎	○	◎		◎	○	全域○～◎ノビエ2.5Lまで
18.	MT-335 粒 〔三井東圧化学〕	MT-128 4.0 未(既知) 4 未(既知) 3.5		○	○	○		○		寒冷地～温暖地○ノビエ2～2.5Lまで
19.	MT-336 粒 〔三井東圧化学〕	MT-128 4.0 未(既知) 0.4 未(既知) 0.07		◎	◎	◎		○		寒冷地～温暖地○～◎ノビエ1.5Lまで
20.	NC-311⑩ 粒 〔日産化学工業〕	NC-311(ピラゾス ルフロンエチル) 0.1	□	○	○	□	○	□	△	全域□(一年生広葉雑草・多年生 雑草対象の混合母剤又は体系処理 として)
21.	NC-311BCG 粒 〔日産化学*・チバガイ ギー〕	NC-311 0.07 BAS-514 0.9 プレチラクロール 1.5	○	◎	○	◎		○	□	全域○ノビエ2.5Lまで〔高温時 の薬害程度確認〕
22.	NC-311CG 粒 〔日産化学*・チバガイ ギー〕	NC-311+ 0.07 プレチラクロール 2.0	○	◎	◎	◎	○			寒地～温暖地○～◎ノビエ2Lまで
23.	NC-311CG① 粒 〔日産化学*・チバガイ ギー〕	NC-311 0.07 プレチラクロール 1.5				◎	○	○	□	温暖地以西○ノビエ1.5Lまで
24.	NC-311SC 粒 〔日産化学工業〕	NC-311 0.1 SC-2957(エスプ ロカルブ) 7	○	◎	○	◎		○	△	寒地～温暖地○ノビエ2.5Lまで 暖地△〔効果・薬害〕
25.	NC-311T(旧: N C-316) 粒 〔日産化学*・日特農〕	NC-311 0.07 メフェナセット 3.5	□	◎	○	◎		○	□	寒冷地～温暖地○～◎ノビエ2.5 ～3Lまで 寒地・暖地□〔効果・薬害〕
26.	NCT-320 フロアブル 〔日産化学*・東ソー〕	NC-311 0.4 TSH-888 20	□	◎	○	○		○	□	全域○ノビエ1.5Lまで
27.	NH-727 粒 〔日本農薬〕	ペンシルフロンメチル 0.25 エスプロカルブ 5.0 未(既知) 3.0	□	○						寒地・寒冷地□ノビエ2.5Lまで

No	薬 剤 名 ・ 剤 型 〔委託会社名〕	有効成分および 含 有 率 (%)	試験実施場所別総合評価							中 央 判 定 結 果 〔今後の課題点等〕
			北 海 道	東 北	北 陸	関 東	近 畿	中 国	九 州	
28. NH-728	粒 〔日本農薬〕	ペンシルフロンメチル 0.25 エスプロカルブ 5.0 未(既知) 0.3	○	○						寒地・寒冷地○ノビエ2Lまで
29. NJM-754	粒 〔徳山曹達・カーリット〕	NSK-850 0.7 JC-940 5 ベンゾフェナップ 4	○	□	○	○		◎	□	寒地～温暖地○ノビエ1.5～2Lまで 暖地□〔薬害確認〕
30. NS-161	粒 〔日本シェーリング〕	NS-112(未) 2.0 未公開(既知) 0.07	○	◎	○	○	□	△	△	寒地・寒冷地○ノビエ2Lまで 温暖地以西□〔薬害確認〕
31. NS-162	粒 〔日本シェーリング〕	NS-112(未) 1.8 未公開(既知) 4.0	○	○	□	○	○	△	□	全域□〔効果・薬害〕
32. NSK-074	粒 〔徳山曹達〕	NSK-850 0.7 プロモブチド 4		○		□		□	△	寒冷地以西□〔除草効果の安定化〕
33. NSK-850D	粒 〔徳山曹達〕	NSK-850 0.9 未公開(既知) 0.25	□	○						寒地・寒冷地□〔除草効果の安定化〕
34. NSK-850D④	粒 〔徳山曹達〕	NSK-850 0.9 未公開(既知) 0.17			○	□		○	△	寒冷地南部以西□〔除草効果の安定化〕
35. PSS④D	粒 〔チバガイギー・住友・三共*〕	プレチラクロール 1.5 ピラゾレート 4 プロモブチド 2 ジメタメトリン 0.2		○		◎	○		△	寒冷地以西○ノビエ2Lまで(但し、ミズガヤツリには早めに使用)
36. SKH-301⑩	粒 〔SKH-301研: シェル化学〕	SKH-301(シンメスリン) 0.15		△		□		□	×	□(一年生雑草対象の混合母剤として)〔高温時薬害懸念〕
37. SKH-8602④	粒 〔日産化学*・シェル化学〕	NC-311 0.07 SKH-301 0.2	△	◎	○	○	○	□	△	寒冷地～温暖地○ノビエ1.5～2Lまで〔残効性の向上〕
38. SL-733	粒 〔石原産業〕	未公開(スルホニルウレア系化合物) 0.15	△	○	○	□	○	□	○	全域□～○(一年生広葉雑草・多年生雑草対象の混合母剤として)
39. SL-734	粒 〔石原産業*・モンサント〕	SL-733(未) 0.15 BAS-514 1.0 MON-72 0.3	○	◎	○	◎		◎	○	全域○～◎ノビエ2.5Lまで〔処理後気象条件と薬害確認〕
40. SM-15④	粒 〔シェル化学・油化*〕	SKH-301 0.1 MY-15(クロメプロップ) 1.5	□	○	△	□	□	□	△	全域□〔除草効果の安定化・薬害〕
41. SPM-344	粒 〔モンサント*・住友・三共〕	プロモブチド 3.0 ピラゾレート 4.0 MON-72 0.4	○	○	○	◎		◎	○	全域○～◎ノビエ1.5Lまで〔ミズガヤツリ効果確認〕

No	薬 剤 名 ・ 剤 型 〔 委 託 会 社 名 〕	有効成分および 含 有 率 (%)	試験実施場所別総合評価							中 央 判 定 結 果 〔 今 後 の 課 題 点 等 〕
			北 海 道	東 北	北 陸	関 東	近 畿	中 国	九 州	
42.	SSH-122 粒 〔塩野義製薬〕	未公開（新規） 3.5		○		□		□		□（一年生雑草対象混合母剤として）
43.	TH-913BA 粒 〔武田薬品工業〕	TH-913（未） 0.3 BAS-514 1.0 未（既知） 1.5	□	◎	□	◎	○	○	△	全域○ノビエ2.5Lまで〔暖地薬害確認〕
44.	TH-913BM 粒 〔武田薬品*・モンサント〕	TH-913（未） 0.3 BAS-514 1.0 MON-72 0.3	□	◎	□	◎	○	○	△	全域○ノビエ2.5Lまで〔暖地薬害確認〕
45.	TH-913BS 粒 〔武田薬品*・SDSバイオテック〕	TH-913（未） 0.3 BAS-514 1.0 ダイムロン 5.0	□	◎	○	◎	○	◎	△	全域○ノビエ2.5Lまで〔暖地薬害確認〕
46.	TH-913BT 粒 〔武田薬品*・東ソー〕	TH-913（未） 0.3 BAS-514 1.0 TSH-888 3.0	□	◎	○	◎	○	○	△	全域○ノビエ2.5Lまで〔暖地薬害確認〕
47.	TSH-888 フロアブル 〔東ソー〕	TSH-888 5.7	○	△	△	□	□	□	△	□（ノビエ・コナギ対象混合母剤として）〔使用方法の検討〕

注）上記判定欄の記号については、◎：極めて有望，○：有望，□：可能性あり，△：再検討，×：見込みなし，を表わす。

第2表 昭和63年度水稻作関係除草剤適2試験成績判定結果一覧表

区 分	判 定	実	実 ・ 継	継	継？	中止
II-2.	移植前後土壌処理		CG-113粒	TSH-888フロアブル		
II-3.	移植後土壌処理		CG-113D粒，CG-155B①粒，CGM-15粒，DPX-84A粒，DPX-84SKH①粒，KH-218粒，KH-249粒，KUH-883粒，MSS-148粒，MSS-148①粒，NC-311G粒，NC-311M粒，NC-311R粒，NSK-850粒，SKH-301粒，SL-652粒，STS-735粒，SUM-72粒，TSH-355粒，TSJ-756粒，Y-873粒，（追加）DPX-84A①粒，DPX-84M粒，DPX-84M①粒。	CG-164粒，KUH-882粒，KUH-882①粒，NSK-850D粒，NSK-850D①粒。		
II-4.	茎葉兼土壌処理		YH-455粒。			
II-5.	適用時期拡大		BAS-521粒，BAS-521水和，CG-SW①D粒。			

判定 区分	実	実・継	継	継?	中止
II-5. 適用時期拡大 (つづき)		DPX-84㊟粒, DPX-84A粒, DPX-84A㊟粒, モリネートSM粒, MSS-148粒, MSS-148㊟粒, MY-71粒, NC-311粒, NTN-806㊟粒, YH-455粒, (追加)BAS-3510(Na)㊟液, DPX-84粒.			
II-6-(1) クログワイ 対象		BAS-3510(Na)㊟液, DPX-84粒, DPX-84㊟粒, NC-311粒. (但し, 徹底防除については継続検討)	MT-123粒, TSJ-756粒. (徹底防除について継続検討) BAS-3510(Na)㊟液, DPX-84粒, DPX-84㊟粒, NC-311粒. DPX-84A㊟粒, DPX-84M粒, DPX-84M㊟粒, DPX-84SC粒, DPX-84TD㊟粒. SAS-521水和, DPX-84A粒, DPX-84B粒, DPX-84B㊟粒, DPX-84CG粒, DPX-84CG㊟粒, DPX-84SC㊟粒, DPX-84T粒, MT-128粒, NC-311B㊟粒, NC-311R粒, YH-3粒.		
II-6-(2) オモダカ対 象		BAS-521粒, BAS-521水和, DPX-84㊟粒, DPX-84A㊟粒, DPX-84B粒, DPX-84B㊟粒, DPX-84CG㊟粒, NC-311M粒, NCM-72粒. (但し, 徹底防除については継続検討)	(徹底防除について継続検討) DPX-84㊟粒, NC-311M粒, NCM-72粒. DPX-84TD㊟粒, NC-311R粒.		
II-6-(3) セリ対象		BAS-521粒, BAS-521水和, DPX-84粒, DPX-84㊟粒, DPX-84SC㊟粒, NC-311粒, NC-311B㊟粒, NC-311M粒, NC-311R粒, NCM-72粒.			
II-6-(5) シズイ対象		DPX-84粒, DPX-84B粒, DPX-84CG粒. (但し, 徹底防除については継続検討)			
II-6-(7) クサネム対 象		DPX-84M㊟粒.			
II-6-(8) コウキヤガラ 対象		BAS-3510(Na)㊟液, DPX-84A粒, DPX-84A㊟粒, DPX-84M粒,	(徹底防除について継続検討) DPX-84A粒, DPX-84A㊟粒, DPX-84M粒,		

区 分 判 定	実	実 ・ 継	継	継 ?	中止
II-6-(8) コウキヤガラ対象(つづき)		DPX-84M①粒, DPX-84SC粒, DPX-84T粒. (但し, 徹底防除については継続検討)	DPX-84M①粒, DPX-84SC粒, DPX-84T粒.		
II-6-(9) キシュウスズメノヒエ対象			BAS-521水和.		
III-1. 湛水直播		DPX-84A①粒, DPX-84M粒, DPX-84M①粒, DPX-84SC①粒,			
III-2. 乾田直播		DPX-84M①粒, HOK-05M粒.			
IV 畦畔雑草		BGX-816水溶, グリホサート液, グリホサート水溶, MON-8794液, MW-831水溶, MW-DC水和, SL-236①乳, 改良C-MH液, SC-224液.	MB-14水和.		
V 耕起前		BGX-816水溶, グリホサート水溶, MON-8794液, MW-831水溶.	MB-14水和.		
VI 休耕田		Hoe-866液.			
VII-1. 初期一発処理剤		CG-SW①D粒, CG-SW①S粒, DPX-84A①粒, DPX-84CG粒, DPX-84CG①粒, DPX-84M粒, DPX-84M①粒, HSW-871粒, KUH-883粒, KUH-883①粒, MT-032粒, MY-93ES粒, NC-311CG粒, NC-311CG①粒, NC-311M粒, NCM-72粒, PSS①D粒, TJM-354粒, TSM-344粒, TSM-612フロアブル.	CPS-162粒, DM-72粒, DM-72①粒, NJM-754粒, SPM-344粒.		
VII-2. 初・中期一発処理剤		DPX-84B粒, DPX-84B①粒, DPX-84SC粒, DPX-84SC①粒, DPX-84TD①粒, NC-311B①粒, NC-311BCG粒, NC-311BS粒, NC-311T粒, NTN-831①粒, NTN-831粒, FSS-115粒, (追加)DPX-84T粒.	DM-72B①粒, MT-333粒, SL-734粒, TH-913BA粒, TH-913BM粒, TH-913BS粒, TH-913BT粒.		
VII-3. 長期持続型一発処理剤		NH-725粒, NH-726粒.	DM-72B粒, DM-72B①粒, NC-311SC粒, NH-726①粒, SL-735粒, TSM-344①粒.		
VIII-1. 少量散布		DPX-84M①粒.			

区 分	判 定	実	実 ・ 継	継	継?	中止
Ⅷ-2. 少量散布			MC-79粒, CG-113粒.			

注: 1) 本年度新規に使用基準の作成されたものは、薬剤名にアンダーラインを記した。
2) 本年度は「継?」および「中止」と判定された薬剤はなかった。

第3表 昭和63年度水稻作関係除草剤使用基準一覧表

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ-2. 移植前後土壌処理	① CG-113 粒 (ソルネット)	土 壌 処 理	全域の早期・ 普通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ミズガヤツリ・ヘ ラオモダカ。 〔但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く。ヘラオモダ カは温暖地東部 以北。〕	-7~-4, +0~ +10(ノビエ1.5 Lまで)。 〔但し、寒地は- 5~-+10。温暖 地早期は-3~ +10。暖地の早 期は+0~ノビ エ1Lまで。暖 地の普通期は- 4, +0~+7。〕 ホタルイ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ; 発生始まで。	300 g/a	砂壤土~埴 土(2cm/日 以下)。 〔但し、寒 地・寒冷 地北部・ 温暖地・ 暖地普通 期は埴土 ~埴土。 温暖地西 部普通期 は(1cm/ 日以下)。 暖地の砂 壤土は (1.5cm/ 日以下)〕。	
Ⅱ-3. 移植後土壌処理	① CG-113 D粒 (パレージ)	土 壌 処 理	全域の早期・ 普通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ミズガヤツリ・ヘ ラオモダカ・アオ ミドロ・表層剥離。 〔但し、ミズガヤ ツリは寒冷地・ 温暖地のみ。ヘ ラオモダカは温 暖地東部以北の 普通期のみ。表 層剥離は暖地普 通期を除く。〕	+0~ノビエ1.5 Lまで。 〔但し、暖地は+ 3~ノビエ1.5 L。〕 ホタルイ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ; 発生始まで。 〔但し、温暖地東 部の普通期のミ ズガヤツリは発 生前。〕 アオミドロ・表層 剥離; 発生前。 〔但し、寒地は発 生前~始。〕	300 g/a	砂壤土~埴 土(2cm/日 以下)。 〔但し、寒 地の砂壤 土は(1.5 cm/日以 下)。温 暖地西部 ・暖地早 期は砂壤 土を除く。 暖地普通 期は埴壤 土~埴土。〕	
	② CG-155 粒 (セイラント*)	土 壌 処 理	全域の早期・ 普通期。 〔但し、寒 冷地南部 を除く。〕	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ。 〔但し、ウリカワ は寒地・寒冷地 南部・温暖地東 部早期を除く。 ミズガヤツリは 温暖地以西の早 期・温暖地東部 の普通期のみ。 ヘラオモダカは	+3~ノビエ2L まで。 〔但し、寒冷地北 部は+5~ノビ エ2Lまで。暖 地は+5~ノビ エ1.5Lまで。〕 ホタルイ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ; 2Lまで。 〔但し、温暖地東 部のミズガヤツ リは発生前。〕 ウリカワ; 発生始		砂壤土~埴 土(2cm/日 以下)。 〔但し、寒 地の砂壤 土は(1.5 cm/日以 下)。寒 冷地北部 は砂壤土 を除く。 温暖地東 部の早期 は(1cm/	(1) ごく浅植えの 場合、寒害のお それがあるので 注意する。

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ-3. 移植後土壌処理(つづき)	② CG-155 B①粒 (つづき)			寒地・寒冷地北部のみ。	〔 まで。 〕		日以下。 温暖地西部の早期は壇土～壇土(1cm/日以下)。温暖地西部の普通期は(1.5cm/日以下)。暖地の早期は壇壇土～壇土(1.5cm/日以下)。暖地の普通期は壇壇土～壇土(2cm/日以下)。	
	③ CGM-15粒 (センチ)	土壌処理	全域の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ。 〔但し、ホタルイは暖地の早期を除く。ウリカワは暖地の普通期のみ。ミズガヤツリは温暖地東部普通期。温暖地西部・暖地のみ。ヘラオモダカは温暖地東部以北の普通期のみ。〕	+3～ノビエ1.5Lまで。 ホタルイ; 2Lまで。 〔但し、寒冷地・温暖地西部早期・暖地は発生始まで。〕 ウリカワ; 2Lまで。 ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 発生始まで。 〔但し、寒地のヘラオモダカは2Lまで。〕	300g/a	壇土～壇土(2cm/日以下)。 〔但し、温暖地西部の普通期・暖地は(1.5cm/日以下)〕。 温暖地西部の早期は(1cm/日以下)。 砂壇土(1.5cm/日以下)。 〔但し、寒地・暖地の普通期のみ。温暖地西部の普通期は(1cm/日以下)〕。	
	④ DPX-84 A粒 (ウルフ25)	土壌処理	全域の普通期・温暖地東部の早期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・シズイ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。オモダカは寒冷地・温暖地東部普通期のみ。ヘラオモダカ・	+5～ノビエ2Lまで。 〔但し、寒地はノビエ1.5Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 オモダカ・クログワイ・ヒルムシロ; 発生始まで。 エゾノサヤヌカグサ; 1～4L(草丈20cm以下)。 シズイ; 草丈2～3cmまで。	g/a 300～400 〔但し、400はシズイのみ。〕	砂壇土～壇土(2cm/日以下)。 〔但し、寒地の砂壇土は(1.5cm/日以下)。寒冷地南部以西は砂壇土を除く。暖地は壇壇土～壇土。〕	(1) 著しい多雨条件では、除草効果が低下する場合がありますので使用はさしひかえる。 (2) クログワイ防除は、クログワイに有効な後期剤との組み合わせで使用する。

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ-3. 移植後土壌処理(つづき)	④ DPX-84 A粒 (つづき)			アオミドロ・表層剥離は寒冷地以北のみ。クログワイ・シズイは寒冷地のみ。ヒルムシロは寒地・寒冷地・温暖地西部のみ。エゾノサヤスカグサは寒地のみ。	アオミドロ・表層剥離；発生前。			
	⑤ DPX-84 SKH [®] 粒	土壌処理	寒冷地北部。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ。	+5～ノビエ2Lまで。 ホタルイ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ；2Lまで。	300 g/a	壤土～埴土(2cm/日以下)。	
	⑥ KH-218 粒	土壌処理	全域の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ヘラオモダカ。 〔但し、ヘラオモダカは寒地のみ。〕	+3～ノビエ1.5Lまで。 〔但し、寒冷地・温暖地東部は+3～+7(ノビエ1Lまで)。 ヘラオモダカ；発生始まで。〕	300 g/a	壤土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、温暖地西部は(1cm/日以下)。 暖地は埴土～埴土(1cm/日以下)〕。	(1) コナギ多発田では早目に使用する。
	⑦ KH-249 粒	土壌処理	温暖地東部の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・アオミドロ・表層剥離。	+3～ノビエ1.5Lまで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ；発生始まで。 アオミドロ・表層剥離；発生前。	300 g/a	砂壤土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、砂壤土は(1.5cm/日以下)〕。	
	⑧ KUH-883 粒	土壌処理	寒地・寒冷地北部。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し、ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離は寒地のみ。〕	+5～ノビエ2Lまで。 〔但し、寒地は+5～ノビエ1.5Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカ；2Lまで。 ヒルムシロ；発生期。 アオミドロ・表層剥離；発生始まで。	300 g/a	壤土～埴土(2cm/日以下)。	
	⑨ MSS-148 粒 (ピリカーナ)	土壌処理	温暖地西部以西の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ。 〔但し、ウリカワは温暖地西部の普通期のみ。ミズガヤツリは普通期のみ。〕	+5～ノビエ2Lまで。 ホタルイ；2Lまで。 〔但し、暖地は発生始まで。〕 ウリカワ・ミズガヤツリ；2Lまで。 〔但し、暖地のミズガヤツリは発生始まで。〕	300 g/a	砂壤土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、温暖地西部の早期は埴土～埴土(1cm/日以下)。 温暖地西部	(1) 広葉多発田での使用はさける。 (2) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。

区分	薬 剤 名	処理	適用処理	適用草種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ-3. 移植後土壌処理(つづき)	⑨ MSS-148 粒 (つづき)						の普通期 は壤土～ 埴土(1.5 cm/日以 下)。	
	⑩ MSS-148 ①粒	土 壌 処 理	温暖地西部 の普通期・ 暖地。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ。 〔但し、ウリカワ は暖地を除く。 ミズガヤツリは 暖地の普通期を 除く。〕	+5～ノビエ2L まで。 〔但し、温暖地西 部は+5～ノビ エ1.5Lまで。〕 ホタルイ; 2Lま で。 〔但し、暖地のホ タルイは発生始 まで。 ウリカワ・ミズガ ヤツリ; 発生始ま で。〕	300 g/a	砂壤土～埴 土(1.5cm/ 日以下)。 〔但し、温 暖地西部 は壤土～ 埴土(1 cm/日以 下)。暖 地普通期 は埴壤土 ～埴土(1 cm/日以 下)〕	(1) 広葉多発田で の使用はさける。 (2) 田植前に生育 したミズガヤツ リは、完全に防 除してから使用 する。
	⑪ NC-311 G粒	土 壌 処 理	全域の早期・ 普通期。 〔但し、暖 地の早期 は除く。〕	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・セリ。 〔但し、ウリカワ は暖地を除く。 ミズガヤツリは 寒地・温暖地東 部早期・暖地を 除く。ヘラオモ ダカは寒地・寒 冷地北部・温暖 地西部のみ(四 国を除く)。セ リは温暖地西部 のみ(四国の普 通期を除く)。〕	+3～ノビエ1.5 Lまで。 〔但し、温暖地西 部(近畿・中国) の普通期・暖地 は+3～+5 (ノビエ1Lま で)。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2 Lまで。 〔但し、寒冷地・ 温暖地西部(近 畿・中国の早期・ 四国)・暖地の ホタルイ、寒冷 地・温暖地(近 畿・中国の普通 期を除く)のウ リカワ、寒冷地 南部・温暖地東 部・温暖地西部 (四国)普通期 のミズガヤツリ、 寒冷地北部・温 暖地西部(近畿・ 中国)のヘラオ モダカは発生始 まで。 セリ; 再生前～始 まで。〕	300 g/a	砂壤土～埴 土(2cm/ 日以下)。 〔但し、温 暖地西部 の早期は (1.5cm/ 日以下)。 温暖地西 部は(1 cm/日以 下)。寒 地の砂壤 土は(1.5 cm/日以 下)。温 暖地東部 早期・暖 地の砂壤 土は(1 cm/日以 下)。寒冷 地北部・ 温暖地東 部普通期・ 温暖地西 部(近畿・ 中国の普 通期を除 く)は砂 壤土を除 く。〕	(1) 深水での処理 はさける。
	⑫ NC-311 M粒 〔Ⅱ-6-(2) Ⅱ-6-(3) と併用。〕	土 壌 処 理	全域の早期・ 普通期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・セ リ。 〔但し、ウリカワ は暖地の普通期 は除く。〕	+5～ノビエ2L まで。 〔但し、寒地は+ 5～ノビエ1.5 Lまで。暖地の 普通期は+2～ (ノビエ2Lまで)。 ホタルイ・ウリカ	300 g/a	砂壤土～埴 土(2cm/日 以下)。 〔但し、温 暖地西部 (近畿・ 中国)普 通期・暖	

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	使用上の注意
Ⅱ-3. 移植後土壌処理(つづき)	⑫ NC-311 M粒 (つづき)			を除く。ミズガヤツリは寒冷地南部以西のみ。オモダカは温暖地東部の普通期のみ。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。セリは寒冷地北部・温暖地普通期のみ。	ワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2 Lまで。 〔但し、寒冷地の〕 ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカと暖地の普通期のホタルイ・ミズガヤツリは発生始まで。 オモダカ; 発生始まで。 セリ; 再生前～始まで。		地は(1.5 cm/日以下)。寒地の砂壤土は(1.5 cm/日以下)。寒冷地北部は砂壤土を除く。温暖地西部(四国)普通期は壤土～埴土(1.5 cm/日以下)。温暖地西部早期は埴土～埴土(1 cm/日以下)。	
	⑬ NC-311 R粒 (ペルーフ*) 〔Ⅱ-6-(3)と併用。〕	土 壌 処 理	全域の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・セリ・エゾノサヤスカグサ。 〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。オモダカは温暖地西部の早期のみ。ヘラオモダカは寒地・寒冷地・温暖地西部(近畿・中国)の普通期のみ。セリは寒地・寒冷地北部・温暖地東部普通期・温暖地西部のみ。エゾノサヤスカグサは寒地のみ。〕	+5～ノビエ 2.5 Lまで。 〔但し、寒地・寒冷地北部・暖地は+5～ノビエ 2 Lまで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ; 2 Lまで。 セリ; 再生始～増殖初期まで。 〔但し、寒地・寒冷地北部・温暖地東部普通期は再生前～始。 エゾノサヤスカグサ; 発生始まで。〕	300 g/a	砂壤土～埴土(2 cm/日以下)。 〔但し、温暖地東部早期・温暖地西部は(1 cm/日以下)。暖地は(1.5 cm/日以下)。寒地の砂壤土は(1.5 cm/日以下)。寒冷地北部は砂壤土を除く。温暖地西部早期・温暖地西部(四国)普通期は壤土(1 cm/日以下)。	
	⑭ NSK-850 粒	土 壌 処 理	全域の普通期・温暖地東部の早期。	一年生雑草・マツバイ。	+3～ノビエ 2 Lまで。 〔但し、寒冷地以北は+3～ノビエ 1 Lまで。〕	300 g/a	砂壤土(1.5 cm/日以下)。埴土～埴土(2 cm/日以下)。 〔但し、砂壤土は寒地のみ。温暖地西部は(1 cm/日以下)。温	(1) 広葉多発田での使用はさける。

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用草種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 3. 移植後土壌処理(つづき)	⑭ <u>NSK-850</u> 粒 (つづき)						暖地東部 早期・暖 地は埴土 ～埴土 (1cm/日 以下). 温暖地東 部普通期 は埴土 ～埴土(2 cm/日以 下).	
	⑮ <u>SKH-301</u> 粒	土 壌 処 理	寒地・寒冷 地.	ノビエ.	+5～ノビエ2L まで.	300 g/a	埴土～埴土 (2cm/日以 下).	(1) ノビエのみ対 象.
	⑯ <u>SL-652</u> 粒 (グラナイス*)	土 壌 処 理	全域の早期・ 普通期. 〔但し、暖 地の早期 を除く.〕	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・ヒルムシロ・ アオミドロ・表層 剥離. 〔但し、ウリカワ は寒冷地北部・ 温暖地東部早期 を除く. ミズガ ヤツリは寒地・ 寒冷地北部・温 暖地東部早期を 除く. ヘラオモ ダカは寒地のみ. ヒルムシロは寒 冷地・温暖地東 部早期を除く. アオミドロは寒 冷地北部を除く. 表層剥離は寒冷 地北部・暖地を 除く.〕	+3～ノビエ2L まで. 〔但し、寒地は+ 3～ノビエ1L まで. 寒冷地・ 温暖地東部・暖 地は+3～ノビ エ1.5Lまで. ホタルイ; 2Lま で. 〔但し、寒地・寒 冷地南部は発生 始まで. ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・ヒルムシロ ; 発生始まで. 〔但し、暖地のウ リカワは2Lま で. アオミドロ・表層 剥離; 発生期.〕	300 g/a	砂埴土(1.5 cm/日以下). 埴土～埴土 (2cm/日以 下). 〔但し、温 暖地西部 の普通期・ 暖地は (1.5cm/ 日以下). 寒冷地・ 温暖地東 部は埴土 ～埴土(2 cm/日以 下). 温 暖地西部 の早期は 埴土～埴 土(1cm/ 日以下).〕	(1) トリアジン系 除草剤の使用上 の注意を守る. (2) 著しい高温条 件下の砂埴土で はクロロシスの 発生することが あるので注意す る. (3) 田植前に生育 したミズガヤツ リは完全に防除 してから使用す る.
	⑰ <u>STS-735</u> 粒	土 壌 処 理	寒冷地・温 暖地以西の 普通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ アオミドロ・表層 剥離. 〔但し、アオミド ロ・表層剥離は 温暖地西部・暖 地のみ.〕	+3～ノビエ1.5 Lまで. 〔但し、寒冷地・ 温暖地東部は+ 3～+7(ノビ エ1Lまで). 温暖地西部は+ 3～+5(ノビ エ1Lまで). ホタルイ; 発生始 まで. アオミドロ・表層 剥離; 発生前.	300 g/a	埴土～埴土 (2cm/日以 下). 〔但し、温 暖地西部・ 暖地は (1.5cm/ 日以下).〕	(1) コナギ多発田 では早目に処理 する. (2) 広葉多発田で の使用はさける. (3) トリアジン系 除草剤の使用上 の注意を守る.
	⑱ <u>SUM-72</u> 粒	土 壌 処 理	全域の早期・ 普通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ヘラオモダカ. 〔但し、ヘラオモ ダカは寒地・寒	+3～ノビエ1.5 Lまで. ホタルイ・ヘラオ モダカ; 発生始ま で.	300 g/a	埴土～埴土 (2cm/日以 下). 〔但し、温 暖地東部	

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	使用上の注意
II-3. 移植後土壌処理(つづき)	⑱ SUM-72 粒 (つづき)			〔冷地北部のみ。〕	〔但し、温暖地東部のホタルイは2Lまで。〕		の早期は埴壌土～埴土(1.5cm/日以下)。温暖地西部早期・暖地普通期は埴壌土～埴土(1cm/日以下)。温暖地西部普通期・暖地早期は砂壌土～埴土(1cm/日以下)。	
	⑲ TSH-355 粒 (オリザガード*)	土 壌 処 理	全域の <u>早期</u> ・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ。 〔但し、ミズガヤツリは寒冷地北部・温暖地普通期・暖地早期のみ。〕	+3～ノビエ1.5Lまで。 ホタルイ; 2Lまで。 〔但し、寒冷地は発生始まで。〕 ミズガヤツリ; 発生始まで。	300 g/a	砂壌土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、温暖地西部普通期は(1cm/日以下)。寒地の砂壌土は(1.5cm/日以下)。寒冷地・温暖地東部早期は砂壌土を除く。温暖地西部早期は埴壌土～埴土(1cm/日以下)。〕	(1) 広葉多発田での使用はさける。
	⑳ TSJ-756 粒	土 壌 処 理	全域の普通期・暖地の <u>早期</u>	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ。 〔但し、ミズガヤツリは寒冷地・温暖地のみ。ヘラオモダカは寒地・寒冷地北部のみ。〕	+3～ノビエ1.5Lまで。 〔但し、温暖地西部(近畿・中国)は+5～ノビエ1.5Lまで。〕 ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 発生始まで。	300 g/a	埴土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、温暖地西部以西は(1cm/日以下)。温暖地西部(近畿・中国)・暖地早期は砂壌土(1cm/日以下)を含む。〕	(1) <u>コナギ多発田では早目に処理する。</u>

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用草種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ－3. 移植後土壌処理(つづき)	㊸ Y-873 粒	土 壌 処 理	全域の早期・ 普通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ヘラオモダカ。 〔但し、ヘラオモ ダカは寒地のみ。〕	+3～ノビエ 1.5 Lまで。 ホタルイ; 2 Lま で。 〔但し、寒地・寒 冷地北部・温暖 地西部早期は発 生始まで。 ヘラオモダカ; 発 生始まで。〕	300 g/a	砂壤土～埴 土(2 cm/日 以下)。 〔但し、温 暖地西部 普通期・ 暖地早期 は(1.5 cm /日以下)。 寒地の砂 壤土は (1.5 cm/ 日以下)。 寒冷地北 部・温暖 地東部早 期は砂壤 土を除く。 温暖地西 部の早期 は埴土～ 埴土(1 cm/日以 下)。 暖 地の普通 期は埴土 ～埴土 (1.5 cm/ 日以下)。	(1) 広葉多発田で の使用はさける。
	㊸ DPX-84 A ㊸粒 〔Ⅱ－6－(2) と併用(過 年度通り)。 (ウルフ17)〕	土 壌 処 理	全域の早期・ 普通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・ク ログワイ・ヒルム シロ・クサネム・ ヒメホタルイ・セ リ・コウキヤガラ・ アオミドロ・表層 剥離。 〔但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く。オモダカは 寒冷地南部・温 暖地の普通期・ 温暖地東部の早 期のみ。ヘラオ モダカは寒地の み。クログワイ は温暖地東部の 普通期と暖地普 通期のみ。ヒル ムシロは温暖地 西部以西の早期 を除く。クサネ ムは寒冷地・温 暖地の普通期の み。ヒメホタル イ・コウキヤガ ラは暖地の早期 のみ。セリは温	+5～ノビエ 2 L まで。 〔但し、寒冷地北 部以北はノビエ 1.5 Lまで。〕 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2 Lまで。 オモダカ; 発生始 まで。 クログワイ; 発生 期まで。 ヒルムシロ; 発生 始まで。 〔但し、温暖地東 部は発生期。〕 クサネム; 発生前 ～本葉展開期。 ヒメホタルイ; 発 生始まで。 セリ; 再生前～始 まで。 コウキヤガラ; 発 生始～盛期。 アオミドロ・表層 剥離; 発生前。	g/a 300～400 〔但し、寒 地と暖地 は300の み。〕	砂壤土～埴 土(2 cm/日 以下)。 〔但し、温 暖地西部 の普通期 と暖地早 期の砂壤 土は(1 cm/日以 下)。 寒 地・寒冷 地北部・ 温暖地西 部の早期 は砂壤土 を除く。〕	(1) 著しい多雨条 件では、除草効 果が低下する場 合があるので使 用はさしひかえ る。 (2) クログワイ防 除はクログワイ に有効な後期剤 との組み合わせ で使用する。 (3) コウキヤガラ 防除は、コウキ ヤガラに有効な 剤との組み合わ せで使用する。

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ-3. 移植後土壌処理(つづき)	㊹ DPX-84 A①粒 (つづき)			暖地の普通期の み。アオミドロ・ 表層剥離は寒冷 地と温暖地西部 の普通期のみ。				
	㊹ DPX-84 M粒 〔Ⅱ-6-(8) と併用。〕 (プッシュ25)	土 壌 処 理	全域の早期・ 普通期。 〔但し、温 暖地西部 の早期は 除く。〕	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・ク ログワイ・ヒルム シロ・クサネム・ セリ・コウキヤガ ラ・シズイ・エゾ ノサヤヌカグサ・ アオミドロ・表層 剥離。 〔但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く。オモダカ・ クサネムは寒冷 地・温暖地東部 の普通期のみ。 ヘラオモダカ・ ヒルムシロ・ア オミドロ・表層 剥離は寒冷地以 北のみ。クログ ワイは寒冷地・ 暖地のみ。セリ・ シズイは寒冷地 のみ。コウキヤ ガラは寒冷地北 部のみ。エゾノ サヤヌカグサは 寒地のみ。〕	+5～ノビエ2L まで。 〔但し、寒地は ノビエ1.5L まで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2 Lまで。 オモダカ; 発生始 まで。 クログワイ; 発生 期。 〔但し、寒冷地は 発生始まで。〕 ヒルムシロ; 発生 盛期まで。 〔但し、寒冷地は 発生始まで。〕 クサネム; 発生前 ～本葉展開期。 セリ; 再生前～始。 コウキヤガラ; 発 生始～発生盛期。 シズイ; 草丈2～ 3cmまで。 エゾノサヤヌカグ サ; 1～4L(草 丈20cm以下)。 アオミドロ・表層 剥離; 発生前。	g/a 300～400 〔但し、400 はシズイ のみ。〕	砂壤土～埴 土(2cm/日 以下)。 〔但し、寒 地・暖地 早期の砂 壤土は (1.5cm/ 日以下)。 寒冷地・ 温暖地西 部以西の 普通期は 砂壤土を 除く。〕	(1) 著しい多雨条 件では、除草効 果が低下する場 合があるので使 用はさしひかえ る。 (2) クログワイ防 除は、クログワ イに有効な後期 剤との組み合わせ で使用する。 (3) <u>コウキヤガラ</u> 防除は、 <u>コウキ ヤガラに有効な 剤との組み合わせ</u> で使用する。
	㊹ DPX-84 M①粒 〔Ⅱ-6-(7) Ⅱ-6-(8) と併用。〕 (プッシュ17)	土 壌 処 理	全域の早期・ 普通期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・ク ログワイ・ヒルム シロ・クサネム・ ヒメホタルイ・セ リ・コウキヤガラ・ アオミドロ・表層 剥離。 〔但し、ウリカワ は温暖地西部の 早期を除く。ミ ズガヤツリは寒 地を除く。オモ ダカは寒冷地・ 温暖地の普通期 のみ。ヘラオモ ダカは寒冷地以 北のみ。クログ ワイは暖地のみ。 ヒルムシロは温	+5～ノビエ2L まで。 〔但し、寒地・寒 冷地北部はノビ エ1.5Lまで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2 Lまで。 オモダカ; 発生始 まで。 クログワイ; 発生 期。 ヒルムシロ; 発生 期。 〔但し、寒地は発 生盛期まで。寒 冷地は発生始期 まで。〕 セリ; 再生前～始 まで。 コウキヤガラ; 発 生始～盛期まで。	g/a 300～400 〔但し、寒 地・暖地 は300の み。〕	砂壤土～埴 土(2cm/日 以下)。 〔但し、寒 地・温暖 地西部普 通期の砂 壤土は (1.5cm/ 日以下)。 暖地早期 の砂壤土 (1cm/日 以下)。 寒冷地・ 温暖地西 部早期は 砂壤土を 除く。〕	(1) 著しい多雨条 件では、除草効 果が低下する場 合があるので使 用はさしひかえ る。 (2) クログワイ防 除は、クログワ イに有効な後期 剤との組み合わせ で使用する。 (3) <u>コウキヤガラ</u> 防除は、 <u>コウキ ヤガラに有効な 剤との組み合わせ</u> で使用する。

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
II-3. 移植後土壌処理(つづき)	㊹ DPX-84 M①粒 (つづき)			暖地以北の普通 期・温暖地東部 の早期のみ。セ リは寒冷地以西 の普通期のみ。 コウキヤガラは 温暖地東部早期・ 暖地早期のみ。 アオミドロは寒 地・寒冷地・温 暖地西部の普通 期のみ。表層剥 離は寒地・寒冷 地・温暖地西部 の早期のみ。ク サネムは北陸・ 温暖地東部普通 期のみ。ヒメホ タルイは暖地普 通期のみ。	アオミドロ・表層 剥離; 発生前。 クサネム; 発生始 〜盛期。 ヒメホタルイ; 発 生始。			
II-4. 茎葉兼土壌処理	① YH-455 粒 (エイトパン チ*)	茎 葉 兼 土 壌 処 理	全域の早期・ 温暖地以北 の普通期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・ヒルムシロ・ アオミドロ・表層 剥離。 〔但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く。ヘラオモダ カは寒冷地以北 のみ。ヒルムシ ロは普通期と温 暖地西部の早期 のみ。アオミド ロ・表層剥離は 寒冷地北部・温 暖地早期を除く。〕	+7〜ノビエ2.5 Lまで。 〔但し、寒地は+ 7〜ノビエ2 L まで。寒冷地北 部・暖地は+10 〜ノビエ2.5 L まで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ 2 Lまで。 ヘラオモダカ; 3 Lまで。 〔但し、寒地は2 Lまで。 ヒルムシロ; 発生期。 アオミドロ・表層 剥離; 発生前〜始。	g/a 300〜400 〔但し、寒 地および 早期は300 のみ。〕	砂壤土〜埴 土(2cm/日 以下)。 〔但し、寒冷 地北部・ 温暖地西 部早期は 砂壤土を 除く。〕	(1) トリアジン系 除草剤の使用上 の注意を守る。 (2) 泥炭質土壌で は、ウリカワに 対する効果が低 下することがあ る。 (3) 著しい高温条 件下の砂壤土水 田ではクロロシ スの発生するこ とがあるので注 意する。
II-5. 適用時期拡大	① BAS-521 粒 〔II-6-(2) II-6-(3) と併用。 (グラスゴン*)〕	茎 葉 兼 土 壌 処 理	全域の普通 期・温暖地 の早期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・セ リ・シズイ・エゾ ノサヤスカグサ。 〔但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く。オモダカは 寒冷地北部・近 畿・中国を除く温 暖地の普通期・ 温暖地西部の早 期のみ。ヘラオ モダカは寒冷地 北部以北・温暖 地西部(近畿・ 中国)のみ。セ リは温暖地東部 早期を除く。エ ゾノサヤスカグ	田植前後土壌処理 した場合。 +20〜+35(ノビ エ3.5 Lまで)。 〔但し、寒地はノ ビエ3 Lまで。 温暖地西部の早 期は4 Lまで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ; 4 Lまで。 〔但し、温暖地西 部以西のホタル イは花茎抽出始 まで。温暖地西 部早期・暖地の ウリカワは5 L まで。温暖地西 部早期のミズガ ヤツリは6 Lま で。暖地のミズ ガヤツリは5 L	300 g/a	砂壤土〜埴 土(2cm/日 以下)。 〔但し、寒 地の砂壤 土は(1.5 cm/日以 下)。暖 地の砂壤 土は(1 cm/日以 下)。寒冷 地南部・ 温暖地の 早期は砂 壤土を除 く。〕	(1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する。 (2) 落水もしくは 浅水で使用する。 (3) 処理後の灌水 は48〜72時間経 過後に行なう。 (4) 処理後2日以 内に降雨が予想 される場合は使 用をさしひかえ る。

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	使用上の注意
Ⅱ—5. 適用時期拡大(つづき)	① BAS-521 粒 (つづき)			サは寒地のみ。 シズイは寒冷地 北部のみ。	まで。 オモダカ; 矢じり 葉2枚まで。 〔但し、温暖地西 部普通期は生育 初期4~5Lま で。温暖地西部 早期は矢じり葉 1枚まで。 ヘラオモダカ; 3 Lまで。 セリ; 発生盛期~ 増殖初期。 シズイ; 草丈10~ 20cmまで。 エゾノサヤスカグ サ; 1~4L(草 丈20cm以下)。			
	② BAS-521 水和 〔Ⅱ-6-(2) Ⅱ-6-(3) と併用。 (グラスゴン*)	茎 葉 兼 土 壌 処 理	全域の普通 期・温暖地 の早期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・セ リ・シズイ・エゾ ノサヤスカグサ。 〔但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く。オモダカは 寒冷地のみ。ヘ ラオモダカは寒 冷地北部以北の み。セリは寒冷 地北部・温暖地 の普通期・暖地 のみ。エゾノサ ヤスカグサは寒 地のみ。シズイ は寒冷地北部の み。〕	田植前後土壌処理 した場合 +25~+40(ノビ エ5Lまで)。 〔但し、寒地はノ ビエ3.5Lまで。 ホタルイ; 花茎抽 出始まで。 ウリカワ; 6Lま で。 〔但し、寒地は4 Lまで。寒冷地 は5Lまで。 ミズガヤツリ; 5 Lまで。 オモダカ; 矢じり 葉4枚まで。 〔但し、寒冷地南 部は矢じり葉2 枚まで。 ヘラオモダカ; 4 Lまで。 セリ; 増殖初期~ 盛期。 シズイ; 草丈20~ 30cm。 エゾノサヤスカグ サ; 1~4L(草 丈20cm以下)。	50 g/a	砂壤土~埴 土(2cm/日 以下)。 〔但し、砂壤 土は寒冷 地北部・ 温暖地西 部普通期・ 暖地のみ。 温暖地東 部早期は 埴壤土~ 埴土。温 暖地西部 早期は埴 壤土(1cm/ 日以下)。	(1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する。 (2) 落水もしくは 浅水で使用する。 (3) 処理後の灌水 は48~72時間経 過後に行なう。 (4) 処理後2日以 内に降雨が予想 される場合は使 用をさしひかえ る。 (5) 著しい多雨条 件では除草効果 が低下する場合 があるので使用 はさしひかえる。 (6) 散布は水稻に なるべくかから ないようにする。
	③ CG-SW ①D粒 (クサホーブ D)	土 壌 処 理	寒冷地。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・ヒルムシロ・ アオミドロ・表層 剥離。 〔但し、ヒルムシ ロは寒冷地北部 のみ。〕	田植前後土壌処理 した場合。 +10~±20(ノビ エ1.5Lまで)。 〔但し、寒冷地北 部は+10~+15 (ノビエ1.5L まで)。 ホタルイ・ヘラオ モダカ; 発生始ま で。 ウリカワ・ミズガ ヤツリ; 2Lまで。	300 g/a	埴土~埴土 (2cm/日以 下)。	(1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する。 (2) 著しい高温条 件下の砂壤土水 田ではクロロシ スの発生するこ とがあるので注 意する。

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ-5. 適用時期拡大(つづき)	③ CG-SW ①D粒 (つづき)				[但し、寒冷地南部のミズガヤツリは発生始まで。] ヒルムシロ; 発生期。 アオミドロ・表層剥離; 発生前～始。			
	④ DPX-84 ④粒 [Ⅱ-6-(1) Ⅱ-6-(2) Ⅱ-6-(3) と併用。]	土 壌 処 理	寒冷地南部・ 温暖地の普通期。	一年生非イネ科・ マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・セリ。 [但し、ヘラオモダカは寒冷地南部のみ。クログワイは温暖地西部のみ。ヒルムシロは温暖地東部のみ。セリは温暖地西部を除く。]	田植前後土壌処理した場合。 +15～+20。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2 Lまで。 オモダカ; 発生始まで。 クログワイ; 発生盛～揃まで。 +20→+40(2回処理)。 ヒルムシロ; 発生前。 セリ; 再生始。	300 g/a	壤土～埴土(2cm/日以下)。 [但し、温暖地西部は(1cm/日以下)。	(1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 (2) 著しい多雨条件下では、除草効果が低下する場合があるので、使用はさしひかえる。 (3) クログワイ防除はクログワイに有効な前処理剤との組み合わせで使用する。 (4) クログワイ防除はクログワイに有効な後期剤との組み合わせで使用する。 (5) クログワイ防除の場合、同一成分含有薬剤を初期剤として使用しないこと。 (6) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで使用する。
	⑤ DPX-84 A粒 [Ⅱ-6-(8) と併用。] (ウルフ25)	土 壌 処 理	寒地・寒冷地。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離・エゾノサヤヌカグサ・シズイ・コウキヤガラ。 [但し、ミズガヤツリ・クログワイ・シズイは寒冷地北部のみ。オモダカ・コウキヤガラは寒冷地北部のみ。アオミドロ・表層剥離・エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。]	田植前後土壌処理した場合。 +15～+20(ノビエ2 Lまで)。 [但し、寒地はノビエ1.5 Lまで。] ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2 Lまで。 オモダカ; 発生始まで。 クログワイ; 発生期。 ヒルムシロ; 発生期。 [但し、寒地は発生始まで。 アオミドロ・表層剥離; 発生前～始。 エゾノサヤヌカグサ; 1～4 L(草丈20cm以下)。 シズイ; 草丈2～	300 g/a	砂壤土～埴土(2cm/日以下)。 [但し、砂壤土は寒冷地南部を除く。寒地の砂壤土は(1.5cm/日以下)。	(1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 (2) 著しい多雨条件下では、除草効果が低下する場合があるので、使用はさしひかえる。 (3) クログワイ防除はクログワイに有効な後期剤との組み合わせで使用する。 (4) コウキヤガラ防除は、コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで使用する。

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 5. 適用 時期 拡大 (つづき)	⑤ DPX-84 A粒 (つづき)				3 cmまで。 コウキヤガラ; 発 生始～盛まで。			
	⑥ DPX-84 A ①粒 〔Ⅱ-6-(8) と併用 (ウルフ17)〕	土 壌 処 理	寒冷地南部・ 温暖地の早 期・普通期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・ヒ ルムシロ・コウキ ヤガラ。 〔但し、オモダカ は温暖地東部の 普通期のみ。ヘ ラオモダカは温 暖地西部の普通 期のみ。ヒルム シロは寒冷地南 部・温暖地東部 普通期のみ。コ ウキヤガラは温 暖地東部の早期 のみ。〕	田植前後土壌処理 した場合。 +15～+20(ノビ エ2 Lまで)。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ; 2 Lまで。 オモダカ・ヘラオ モダカ; 発生始ま で。 ヒルムシロ; 発生 期。 コウキヤガラ; 発 生始～盛まで。	300 g/a	砂壤土～埴 土(2 cm/日 以下)。 〔但し、温 暖地西部 の普通期 は(1.5 cm /日以下)。 温暖地東 部は砂壤 土を除く。 温暖地西 部の早期 は埴壤土 ～埴土(1 cm/日以 下)〕	(1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する。 (2) 著しい多雨条 件では、除草効 果が低下する場 合があるので、 使用はさしひか える。 (3) コウキヤガラ 防除は、コウキ ヤガラに有効な 剤との組み合わ せで使用する。
	⑦ モリネット SM粒 (マメット SM)	茎 葉 兼 土 壌 処 理	全域の早期・ 普通期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・ヒ メホタルイ・アオ ミドロ・表層剥離・ シャジクモ。 〔但し、ウリカワ・ ミズガヤツリは 寒地を除く。オ モダカは寒冷地 のみ。ヘラオモ ダカは寒地・寒 冷地のみ。ヒメ ホタルイは温暖 地東部のみ。ア オミドロ・表層 剥離は温暖地西 部早期・暖地普 通期を除く。シ ャジクモは暖地 の早期のみ。〕	田植前後土壌処理 した場合。 +20～+30(ノビ エ3.5 Lまで) 〔但し、寒地は2.5 Lまで。寒冷地 以北はイネ5 L 以降。温暖地の 西部は+15～+ 30(ノビエ3.5 Lまで)。暖地 の普通期は+20 ～+25(ノビエ 3.5 Lまで)。〕 ホタルイ・オモダ カ; 5 Lまで。 〔但し、暖地のホ タルイは発生始 ～5 Lまで。〕 ウリカワ・ヘラオ モダカ; 4 Lまで。 〔但し、暖地普通 期のウリカワは 3～6 Lまで。〕 ミズガヤツリ; 6 Lまで。 ヒメホタルイ; 草 丈10 cm以下。 アオミドロ・表層 剥離・シャジクモ ; 発生期。	g/a 300～400	砂壤土～埴 土(2 cm/日 以下)。 〔但し、暖 地の普通 期は(1 cm/日以 下)〕	(1) 前処理剤との 組合せで使用する。 (2) 低温時及び低 水温は薬害の危 険性があるので 使用はさける。 (3) トリアジン系 除草剤の使用上 の注意を守る。 (4) ミズガヤツリ 防除は、ミズガ ヤツリに有効な 前処理剤との組 み合わせで使用 する。
	⑧ MSS-148 粒 〔前年通り〕 (ピリカーナ)	土 壌 処 理	温暖地以北 の普通期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ。 〔但し、ウリカワ〕	田植前後土壌処理 した場合。 +20～+25。 〔但し、寒冷地は〕 〔+15～+25。 ノビエ; 2 Lまで。〕	300 g/a	埴土～埴土 (2 cm/日以 下)。 〔但し、温 暖地西部 は砂壤土〕	(1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する。

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 5. 適用時期拡大(つづき)	⑧ MSS-148 粒 (つづき)			は温暖地のみ。 ミズガヤツリは 温暖地西部のみ。 ヘラオモダカは 寒地のみ。	ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2 Lまで。 〔但し、温暖地東 部はホタルイ 3 Lまで、ウリカ ワ 4 Lまで。〕		〔～埴土(1 cm/日以下)〕	
	⑨ MSS-148 ①粒	土 境 処理	寒冷地南部・ 温暖地東部 普通期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ。 〔但し、ウリカワ は寒冷地南部の み、ミズガヤツ リは温暖地東部 のみ。〕	田植前後土壌処理 した場合。 +20～+25(ノビ エ 2 Lまで)。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ; 発生始まで。 〔但し、温暖地東 部のホタルイは 2 Lまで。〕	300 g/a	砂壤土～埴 土(2cm/日 以下)。 〔但し、寒 冷地南部 は砂壤土 を除く。〕	(1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する。
	⑩ MY-71 粒 (ユカワイド)	土 境 処理	寒冷地以西 の普通期・ 温暖地東部 の早期。	一年生非イネ科・ マツバイ・ウリカ ワ・オモダカ・ヒ ルムシロ。 〔但し、一年生非 イネ科・マツバ イ・ヒルムシロ は寒冷地を除く。 オモダカは温暖 地のみ。温暖地 西部・暖地では ヒメミソハギに 有効。〕	田植前後土壌処理 した場合。 +7～+15。 ウリカワ; 3 Lま で。 〔但し、寒冷地は 発生始まで。温 暖地東部は 2 L まで。〕 オモダカ; 3 Lま で。 〔但し、温暖地東 部は発生前。 ヒルムシロ; 発生 期。 〔但し、温暖地東 部は発生前。〕	300 g/a	埴土～埴土 (2cm/日以下)。 〔但し、温 暖地西部 以西は砂 壤土～埴 土(1.5cm /日以下)〕	(1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する。
	⑪ NC-311 粒 〔Ⅱ-6-(1) Ⅱ-6-(3) と併用。〕 (シリウス*)	土 境 処理	温暖地以北 の早期・普 通期。	一年生非イネ科・ マツバイ・ホタル イ・ウリカワ・ミ ズガヤツリ・オモ ダカ・ヘラオモダ カ・クログワイ・ セリ。 〔但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く、オモダカは 寒冷地北部・温 暖地の普通期・ 温暖地西部の早 期のみ。ヘラオ モダカは寒冷地 北部以北のみ。 クログワイは温 暖地西部の普通 期のみ。セリは 寒冷地北部・温 暖地普通期・温 暖地西部早期の み。〕	田植前後土壌処理 した場合。 +12～+20。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2 Lまで。 オモダカ; 2 Lま で。 〔但し、温暖地西 部は発生期。〕 クログワイ; 発生 盛期～揃。 セリ; 再生始～増 殖初。 〔但し、寒冷地北 部・温暖地東部 普通期は再生前 ～始。〕	300 g/a	砂壤土～埴 土(2cm/日 以下)。 〔但し、砂 壤土は寒 地・寒冷 地南部・ 温暖地普 通期のみ。 寒地の砂 壤土は (1.5cm/ 日以下)。 温暖地西 部の普通 期は(1cm /日以下)。 温暖地の 早期は埴 土～埴土 (1cm/日 以下)〕	(1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する。 (2) 著しい多雨条 件では、除草効 果が低下する場 合があるので、 使用はさしひか える。 (3) クログワイ防 除はクログワイ に有効な剤との 組み合わせで使 用する。 (4) クログワイ防 除はクログワイ に有効な後期剤 との組み合わせ で使用する。

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
II-5. 適用時期拡大(つづき)	⑫ NTN-806 ①粒 (クロアSM*)	茎葉兼土壌処理	全域の早期・普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離. 〔但し、ミズガヤツリは寒地・寒冷地北部・暖地普通期を除く。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。ヒルムシロは寒地・寒冷地・温暖地西部早期のみ。アオミドロ・表層剥離は寒冷地・温暖地西部普通期のみ。〕	田植前後土壌処理した場合. +20~+25(ノビエ3Lまで). 〔但し、寒冷地以北はイネ5L期以降。寒地はノビエ2Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 3Lまで. 〔但し、寒地・温暖地早期・温暖地東部普通期のホタルイは2Lまで。温暖地東部のミズガヤツリは発生始まで。寒地のヘラオモダカは2Lまで。〕 ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離; 発生期.	300 g/a	砂壤土~埴土(2cm/日以下). 〔但し、砂壤土は寒地・寒冷地南部・温暖地普通期・暖地のみ。寒地・温暖地東部の砂壤土は(1.5cm/日以下). 温暖地西部の砂壤土は(1cm/日以下). 暖地は(1.5cm/日以下). 温暖地東部の早期は埴土~埴土。温暖地西部の早期は埴土(1cm/日以下).〕	(1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 (2) ホタルイ・ミズガヤツリに有効な前処理剤と組み合わせる。 (3) 低気温および低水温時は薬害の危険性があるので使用はさける。 (4) トリアジン系除草剤の使用上の注意を守る。 (5) MCP混合剤の注意事項を守る。
	⑬ YH-455 粒 (エイトパンチ*)	茎葉兼土壌処理	寒地・寒冷地北部・温暖地普通期・暖地早期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離. 〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒地・寒冷地北部のみ。ヒルムシロは暖地を除く。〕	田植前後土壌処理した場合. +15~+25(ノビエ2.5Lまで). 〔但し、寒地はノビエ2Lまで。温暖地西部はノビエ3Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 3Lまで. 〔但し、温暖地東部以北のホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリは2Lまで。寒地のヘラオモダカは2Lまで。〕 ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離; 発生期.	300 g/a	砂壤土~埴土(2cm/日以下). 〔但し、砂壤土は温暖地以西のみ。温暖地西部以西は(1.5cm/日以下).〕	(1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 (2) ミズガヤツリ防除はミズガヤツリに有効な前処理剤との組み合わせで使用する。 (3) 著しい高温条件下の砂壤土水田ではクロロシスの発生することがあるので注意する。 (4) トリアジン系除草剤の使用上の注意を守る。
	⑭ BAS-3510 Na①液 〔II-6-(1) II-6-(8) と併用. (バサグラン)〕	茎葉処理	全域の早期・普通期.	一年生非イネ科雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ.	田植前後土壌処理した場合. +25~+30. 〔但し、温暖地東部の早期とオモダカは+30~+	ml/a 50~70	全土壌	(1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 (2) クログワイ防除はクログワイに有効な前処理

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ—5. 適用時期拡大(つづき)	⑭ BAS-3510 Na①液 (つづき)			エゾノサヤヌカグ サ・シズイ・コウ キヤガラ。 〔但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く。オモダカは 寒冷地北部・温 暖地普通期(四 国)のみ。ヘラ オモダカは寒冷 地以北と温暖地 西部のみ。クロ グワイは寒冷地 北部・温暖地普 通期・暖地のみ。 エゾノサヤヌカ グサは寒地のみ。 シズイは寒冷地 のみ。コウキヤ ガラは寒冷地北 部・暖地のみ。〕	40. クログワイ は+20→+40→ +30→+50の2 回散布。コウキ ヤガラ多発田は +30→+45の2 回散布。 一年生非イネ科; 生育期。 ホタルイ; 発生盛 期~増殖中期。 〔但し、寒地は発 生盛期~花茎抽 出期。寒冷地・ 暖地早期は発生 盛期~増殖初期。〕 ウリカワ・ミズガ ヤツリ; 発生盛期 ~増殖中期。 〔但し、寒冷地北 部以北では発生 盛期~増殖初期。〕 オモダカ; 5~6 L期, 矢じり葉 4枚まで。 〔但し、寒冷地・ 温暖地西部では 発生盛期~増殖 初期。〕 ヘラオモダカ; 発 生盛期~増殖初 期。 クログワイ; 発生 盛期(草丈15~ 30cm以下)。 エゾノサヤヌカグ サ; 1~4Lまで (草丈20cm以下)。 シズイ; 草丈10~ 30cm以下。 コウキヤガラ; 増 殖期。			剤との組み合わせで使用する。 (3) 落水もしくは浅水で使用する。 (4) 処理後の灌水は48~72時間経過後に行なう。 (5) 散布は水稲になるべくかからないようにする。 (6) 処理後2日以内に降雨が予想される場合は使用をさしひかえる。
	⑮ DPX-84 粒 〔Ⅱ-6-(1) Ⅱ-6-(3) Ⅱ-6-(5) と併用。〕	土 壌 処 理	温暖地東部 以北の早期・ 普通期, 温 暖地西部(四 国)の普通 期。 〔但し、温 暖地東部 の普通期 は低温時 移植地帯 に限る。〕	一年生非イネ科・ マツバイ・ホタル イ・ウリカワ・ミ ズガヤツリ・オモ ダカ・ヘラオモダ カ・クログワイ・ ヒルムシロ・アオ ミドロ・表層剥離・ セリ・シズイ。 〔但し、温暖地西 部(四国)の普通 期はオモダカの み。ミズガヤツ リ・オモダカは 寒地を除く。ヘ ラオモダカ・ア オミドロ・表層 剥離は寒地のみ。 クログワイ・セ	田植前後土壌処理 した場合: +15~+20。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2 Lまで。 オモダカ; 発生前。 〔但し、寒冷地・ 温暖地西部は発 生始まで。〕 クログワイ; 発生 盛期。+20→+ 45の2回散布。 ヒルムシロ; 発生 前。 〔但し、寒地は発 生始まで。〕 アオミドロ・表層	300 g/a	壤土~埴土 (2cm/日以 下)。 〔但し、寒 地は砂壤 土(1.5cm /日以下)を 含む。 温暖地西 部は(1cm /日以下)〕	(1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する。 (2) 著しい多雨条 件では、除草効 果が低下する場 合があるので、 使用はさしひか える。 (3) クログワイ防 除はクログワイ に有効な前処理 剤との組み合わせ で使用する。 (4) クログワイ防 除はクログワイ に有効な後期剤 との組み合わせ で使用する。

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ－5、 (つづき)	⑮ DPX-84 粒 (つづき)			リ・シズイは寒 冷地北部のみ。 ヒルムシロは寒 冷地を除く。	剥離：発生前～始 まで。 セリ；再生始。 シズイ；草丈0～ 3cm・+20→+ 40の2回散布。			(5) クログワイ防 除の場合、同一 成分含有薬剤を 初期剤として使 用しないこと。
Ⅱ－6 (1) ク ロ グ ワ イ 対 象	① BAS-3510 Na ㊟液		〔Ⅱ－5－⑭の項参照〕	(但し、徹底防除については継続検討)				
	② DPX-84 粒		〔Ⅱ－5－⑮の項参照〕	(但し、徹底防除については継続検討)				
	③ DPX-84 ㊟粒		〔Ⅱ－5－④の項参照〕	(但し、徹底防除については継続検討)				
	④ NC-311 粒		〔Ⅱ－5－⑪の項参照〕	(但し、徹底防除については継続検討)				
Ⅱ－6 (2) オ モ ダ カ 対 象	① BAS-521 粒		〔Ⅱ－5－①の項参照〕	(但し、徹底防除については継続検討)				
	② BAS-521 水和		〔Ⅱ－5－②の項参照〕	(但し、徹底防除については継続検討)				
	③ DPX-84 ㊟粒		〔Ⅱ－5－④の項参照〕	(但し、徹底防除については継続検討)				
	④ DPX-84 A ㊟粒		〔Ⅱ－3－㉔の項参照〕	(但し、徹底防除については継続検討)				
	⑤ DPX-84 B 粒		〔Ⅶ－2－①の項参照〕	(但し、徹底防除については継続検討)				
	⑥ DPX-84 B ㊟粒		〔Ⅶ－2－②の項参照〕	(但し、徹底防除については継続検討)				
	⑦ DPX-84 CG ㊟粒		〔Ⅶ－1－⑤の項参照〕	(但し、徹底防除については継続検討)				
	⑧ NC-311 M 粒		〔Ⅱ－3－⑫の項参照〕	(但し、徹底防除については継続検討)				
	⑨ NCM-72 粒		〔Ⅶ－1－⑯の項参照〕	(但し、徹底防除については継続検討)				
Ⅱ－6 (3) セ リ 対 象	① BAS-521 粒		〔Ⅱ－5－①の項参照〕					
	② BAS-521 水和		〔Ⅱ－5－②の項参照〕					
	③ DPX-84 粒		〔Ⅱ－5－⑮の項参照〕 ④					
	④ DPX-84 ㊟粒		〔Ⅱ－5－④の項参照〕					
	⑤ DPX-84 SC ㊟粒		〔Ⅶ－2－③の項参照〕					
	⑥ NC-311粒		〔Ⅱ－5－⑪の項参照〕					

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 6 (3) セリ対象(つづき)	⑦ <u>NC-311</u> <u>B①粒</u>		〔Ⅶ-2-⑥の項参照〕					
	⑧ <u>NC-311</u> <u>M粒</u>		〔Ⅱ-3-⑫の項参照〕					
	⑨ <u>NC-311</u> <u>R粒</u>		〔Ⅱ-3-⑬の項参照〕					
	⑩ <u>NCM-72</u> <u>粒</u>		〔Ⅶ-1-⑯の項参照〕					
Ⅱ 6 (5) シズイ対象	① <u>DPX-84</u> <u>粒</u>		〔Ⅱ-5-⑮の項参照〕 (但し、徹底防除については継続検討)					
	② <u>DPX-84</u> <u>B粒</u>		〔Ⅶ-2-①の項参照〕 (但し、徹底防除については継続検討)					
	③ <u>DPX-84</u> <u>C G 粒</u>		〔Ⅶ-1-⑤の項参照〕 (但し、徹底防除については継続検討)					
Ⅱ 6 (7) クサネム対象	① <u>DPX-84</u> <u>M①粒</u>		〔Ⅱ-3-⑳の項参照〕					
Ⅱ 6 (8) コウキヤガラ対象	① <u>BAS-3510</u> <u>Na①液</u>		〔Ⅱ-5-⑭の項参照〕 (但し、徹底防除については継続検討)					
	② <u>DPX-84</u> <u>A粒</u>		〔Ⅱ-5-⑤の項参照〕 (但し、徹底防除については継続検討)					
	③ <u>DPX-84</u> <u>A①粒</u>		〔Ⅱ-5-⑥の項参照〕 (但し、徹底防除については継続検討)					
	④ <u>DPX-84</u> <u>M粒</u>		〔Ⅱ-3-㉓の項参照〕 (但し、徹底防除については継続検討)					
	⑤ <u>DPX-84</u> <u>M①粒</u>		〔Ⅱ-3-㉔の項参照〕 (但し、徹底防除については継続検討)					
	⑥ <u>DPX-84</u> <u>SC粒</u>		〔Ⅶ-2-③の項参照〕 (但し、徹底防除については継続検討)					
	⑦ <u>DPX-84</u> <u>T粒</u>		〔Ⅶ-2-⑬の項参照〕 (但し、徹底防除については継続検討)					
Ⅲ 1. 湛 水 直 播	① <u>DPX-84</u> <u>A①粒</u> (ウルフ17)	土 壌 処 理	寒冷地南部・ <u>温暖地</u>	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ。 〔但し、ウリカワ は温暖地東部を 除く。〕	イネ1L～ノビエ 1.5Lまで。 〔但し、温暖地東 部はイネ1L～ ノビエ2Lまで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ; 2Lまで。 〔但し、寒冷地南 部・温暖地東部 は発生始まで。〕	300 g/a	壇土～壇土 (2cm/日以下)。 〔但し、温 暖地東部 は(1.5cm /日以下)。 温暖地西 部は(1cm /日以下)〕	(1) ホタルイ多発 田では、ホタル イに有効な中・ 後期剤との組み 合わせで使用する。

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅲ 1. 湛 水 直 播 (つづき)	② DPX-84 M粒 (プッシュ25)	土 壌 処 理	寒冷地北部.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ.	イネ1L～ノビエ 2Lまで. ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2 Lまで.	300 g/a	壤土～埴土 (2cm/日以下).	
	③ DPX-84 M粒 (プッシュ17)	土 壌 処 理	寒冷地南部 以西の普通 期・温暖地 西部の <u>早期</u> .	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヒルムシロ・セリ. 但し、ミズガヤ ツリは暖地を除 く. オモダカ・ ヒルムシロは温 暖地の普通期の み. セリは温暖 地西部の普通期 のみ.	イネ1L～ノビエ 2Lまで. ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ; 2Lまで. 〔但し、寒冷地南 部・暖地は発生 始まで.〕 オモダカ・ヒルム シロ; 発生期. 〔但し、温暖地東 部のオモダカは 発生始まで.〕 セリ; 発生前～始.	300 g/a	砂壤土～埴 土(2cm/日 以下). 〔但し、温 暖地西部 普通期は (1cm/日 以下). 温暖地東 部は砂壤 土を除く. 温暖地西 部の早期 は埴壤土 ～埴土 (1.5cm/ 日以下).〕	(1) ホタルイ多発 田では、ホタル イに有効な中・ 後期剤との組み 合わせで使用する.
	④ DPX-84 SC粒 (フジグラス 17)	土 壌 処 理	温暖地.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ. 〔但し、ウリカワ は温暖地東部を 除く.〕	イネ1L～ノビエ 2Lまで. ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ; 2Lまで. 〔但し、温暖地東 部のミズガヤツ リは発生始まで.〕	300 g/a	砂壤土～埴 土(1.5cm/ 日以下). 〔但し、温 暖地東部 は砂壤土 を除く.〕	(1) ホタルイ多発 田では、ホタル イに有効な中・ 後期剤との組み 合わせで使用する.
Ⅲ 2. 乾 田 直 播	① DPX-84 M粒 (プッシュ17)	土 壌 処 理	温暖地西部.	一年生雑草・マツ バイ.	入水後4～9日ま で. ノビエ; 2Lまで.	g/a 300～400	壤土～埴土 (2cm/日以下).	
	② HOK-05 M粒 (セスロン)	土 壌 処 理	温暖地西部.	一年生雑草・マツ バイ.	入水後9日まで. ノビエ; 2Lまで.	300 g/a	壤土～埴土 (2cm/日以下).	
Ⅳ 畦 畔 雑 草	① BGX-816 水溶	茎 葉 処 理	寒冷地以西.	全草種.	雑草生育期(草丈 30cm以下).	40～60 g/a	全土壌.	(1) ノリ面散布は さける. (2) 流入、飛散等 による水稲への 薬害に注意する.
	② グリホサート液 (ラウンドアップ)	茎 葉 処 理	全域.	全草種.	雑草生育期. 〔但し、寒地は雑 草生育期～積雪 前.〕	一年生雑草; 25～50 ml/a. 多年生雑草; 75～100 ml/a. 少量散布の 場合; 25ml /a. 希釈 水量2.5 l/aでも 有効.	全土壌.	(1) ノリ面散布は させる. (2) 流入、飛散等 による水稲への 薬害に注意する. (3) 少量散布の場 合は専用の散布 機を用いる.

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
IV 畦 畔 雑 草 (つづき)	③ グリホサート水溶	茎葉処理	全域.	全草種.	雑草生育期.	温暖地東部以北; 30~50 g/a. 温暖地西部以西; 50~75 g/a. 少量散布(希釈水量 2.5 l/a)でも有効(全域).	全土壌.	(1) ノリ面散布はさける. (2) 流入, 飛散等による水稲への薬害に注意する. (3) 少量散布の場合は専用の散布機を用いる.
	④ MON-8794 液 (ボラリス)	茎葉処理	全域.	全草種.	雑草生育期(草丈 20~30cm).	寒冷地以北; 30~50 ml/a. 温暖地西部以西; 40~50 ml/a. 少量散布(希釈水量 2.5 l/a)でも有効(全域).	全土壌.	(1) ノリ面散布はさける. (2) 流入, 飛散等による水稲への薬害に注意する. (3) 少量散布の場合は専用の散布機を用いる.
	⑤ MW-831 水溶 (ハービエース)	茎葉処理	全域.	全草種.	雑草生育期.	50~75 g/a 但し, 寒冷地は30~75g/a.	全土壌.	(1) ノリ面散布はさける. (2) 流入, 飛散等による水稲への薬害に注意する.
	⑥ MW-DC 水和 (サポート*)	茎葉兼土壌処理	全域.	全草種.	雑草生育期. 〔但し, 雑草発生揃後なるべく早目に散布する.〕	50~75 g/a	全土壌.	(1) ノリ面散布はさける. (2) 流入, 飛散等による水稲への薬害に注意する.
	⑦ SL-236 ①乳	茎葉処理	温暖地東部以西.	一年生イネ科雑草・キシュウスズメノヒエ. 〔但し, キシュウスズメノヒエは温暖地東部・暖地のみ.〕	雑草生育期(草丈 30cm以下).	温暖地東部; 20~30 ml/a. 温暖地西部; 20~40 ml/a. 暖地; 30~40 ml/a.	全土壌.	(1) ノリ面散布はさける. (2) 流入, 飛散等による水稲への薬害に注意する.
	⑧ 改良C-MH液 (エルノー)	茎葉処理	寒冷地北部.	全草種.	雑草生育期(草丈 5~10cm以下).	ml/a 200~250	全土壌.	(1) ノリ面散布はさける. (2) 流入, 飛散等による水稲への薬害に注意する.
	⑨ SC-224 液 (タッチダウン*)	茎葉処理	寒冷地以西.	全草種.	雑草生育期.	ml/a 20~40	全土壌.	(1) ノリ面散布はさける. (2) 流入, 飛散等による水稲への薬害に注意する.
V 耕起前雑草	① BGX-816 水溶	茎葉処理	寒冷地以西.	一年生雑草.	耕起前20日以前(雑草生育期)	40~60 g/a	全土壌.	(1) 周辺の作物に飛散しないように注意する.

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	使用上の注意
V 耕 起 前 雑 草 (つ つ き)	② グリホサート水溶	茎葉処理	寒冷地以西.	一年生雑草.	耕起前 20 日以前 (雑草生育期)	40~60g/a 少量散布(希 釈水量 2.5 l/a) でも 有効.	全土壌.	(1) 周辺の作物に 飛散しないよう に注意する. (2) 少量散布の場 合は, 専用の散 布機を使用する.
	③ MON-8794 液 (ボラリス)	茎葉処理	寒冷地以西.	寒冷地; 一年生雑 草・イネ科多年 生雑草. 温暖地; 一年生雑 草. 暖地; 一年生雑草・ キシウスズメ ノヒエ.	耕起前 20 日以前 (雑草生育期)	ml/a 30 ~ 50 少量散布(希 釈水量 2.5 l/a) でも 有効.	全土壌.	(1) 周辺の作物に 飛散しないよう に注意する. (2) 少量散布の場 合は, 専用の散 布機を使用する.
	④ MW-831 水溶 (ハービエース)	茎葉処理	寒冷地・温 暖地.	一年生雑草.	耕起前 20 日以前 (雑草生育期).	ml/a 30 ~ 75	全土壌.	(1) 周辺の作物に 飛散しないよう に注意する.
VI 休 耕 田	① Hoe-866 液 (バスタ)	茎葉処理	温暖地東部・ 暖地.	全草種	雑草生育期(草丈 50cm以下).	ml/a 50 ~ 100	全土壌.	(1) 周辺の作物に 飛散しないよう に注意する.
VII 1. 初 期 一 発 処 理 剤	① CG-SW ①D粒 (クサホープ D)	土 壌 処 理	寒冷地以西 の早期・普 通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・ヒルムシロ・ アオミドロ・シャ ジクモ・ウキクサ・ 表層剥離. 〔但し, ヘラオモ ダカは寒冷地・ 温暖地東部のみ. ヒルムシロは温 暖地西部の早期 ・暖地を除く. 表層剥離は暖地 を除く. シャジ クモは温暖地東 部のみ, ウキク サは温暖地西部 のみ.〕	+3~ノビエ 2 L まで. 〔但し, 寒冷地北 部はノビエ 1.5 L まで. 寒冷地 南部の砂壤土水 田では+7~ノ ビエ 2 L まで.〕 ホタルイ・ウリカ ワ; 2 L まで. 〔但し, 寒冷地・ 温暖地東部のホ タルイは発生始 まで. ミズガヤツリ・ヘ ラオモダカ; 発生 始まで. ヒルムシロ; 発生 期. アオミドロ・シャ ジクモ・ウキクサ・ 表層剥離; 発生前.	300 g/a	砂壤土~埴 土(2cm/日 以下). 〔但し, 砂 壤土は温 暖地西部 の早期を 除く. 暖 地の早期 は(1cm/ 日以下). 暖地の普 通期の砂 壤土は(1 cm/日以 下).〕	(1) 泥炭質土壌で は, ウリカワに 対する効果が低 下することがあ る. (2) 著しい高温条 件下の砂壤土水 田ではクロロシ スの発生するこ とがあるので注 意する. (3) 田植前に生育 したミズガヤツ リは, 完全に防 除してから使用 する.
	② CG-SW ①S粒	土 壌 処 理	寒冷地以西 の早期・普 通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・ヒルムシロ・ アオミドロ・ウキ クサ・表層剥離. 〔但し, ヘラオモ ダカは寒冷地の み. ヒルムシロ は寒冷地・温暖 地西部の普通期 のみ, ウキクサ	+3~ノビエ 2 L まで. 〔但し, 寒冷地北 部はノビエ 1.5 L まで. 寒冷地 南部の砂壤土水 田では+7~ノ ビエ 2 L まで.〕 ホタルイ・ウリカ ワ; 2 L まで. 〔但し, 寒冷地の ホタルイは発生 始まで.〕	300 g/a	砂壤土~埴 土(2cm/日 以下). 〔但し, 砂 壤土は寒 冷地南部・ 温暖地東 部早期・ 温暖地西 部普通期・ 暖地早期 のみ. 温 暖地早期・	(1) 泥炭質土壌で は, ウリカワに 対する効果が低 下することがあ る. (2) 著しい高温条 件下の砂壤土水 田ではクロロシ スの発生するこ とがあるので注 意する. (3) 田植前に生育 したミズガヤツ

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
VII 1. 初期一発処理剤(つづき)	② CG-SW ①S粒 (つづき)			は温暖地西部の早期のみ。アオミドロは暖地の普通期を除く。表層剥離は暖地を除く。	ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 発生始まで。 ヒルムシロ; 発生期。 アオミドロ・ウキクサ・表層剥離; 発生前。		暖地早期は(1cm/日以下)。暖地の普通期は埴埴土(1cm/日以下)。	リは、完全には防除してから使用する。
	③ DPX-84 A①粒 (ウルフ17)	土 壌 処 理	寒冷地南部以西の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離・クサネム・セリ。 〔但し、オモダカ・クサネムは温暖地東部の普通期のみ。ヒルムシロは暖地の早期を除く。アオミドロ・表層剥離は寒冷地・温暖地西部の普通期のみ。セリは温暖地西部・暖地普通期のみ。〕	+5〜ノビエ2Lまで。 〔但し、暖地の普通期は+3〜ノビエ2Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ; 2Lまで。 オモダカ; 発生始まで。 ヒルムシロ; 発生期。 アオミドロ・表層剥離; 発生前。 クサネム; 発生前〜本葉展開期。 セリ; 再生前〜始。	300 g/a	砂埴土〜埴土(2cm/日以下)。 〔但し、温暖地西部普通期の砂埴土は(1.5cm/日以下)。温暖地西部の早期は埴土(1cm/日以下)〕。	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので、使用はさしひかえる。 (2) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで使用。 (3) 暖地の普通期の早期の処理の場合は植付け精度に特に注意する。
	④ DPX-84 CG粒 〔II-6-(5)〕 と併用。 (ゴルボ25)	土 壌 処 理	寒地・寒冷地北部。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・エゾノサヤヌカグサ・シズイ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し、ミズガヤツリ・オモダカ・セリ・シズイは寒冷地のみ。エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。〕	+5〜ノビエ1.5Lまで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 オモダカ; 発生始まで。 ヒルムシロ; 発生期。 セリ; 再生前〜始。 エゾノサヤヌカグサ; 1〜4Lまで(草丈20cm以下)。 シズイ; 草丈0〜3cm。 アオミドロ・表層剥離; 発生前。	300 g/a	埴土〜埴土(2cm/日以下)。	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので、使用はさしひかえる。 (2) 植付精度不良で、根が露出する水田では使用しない。 (3) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで使用。 (4) シズイ防除は、シズイに有効な剤との組み合わせで使用する。
	⑤ DPX-84 CG①粒 〔II-6-(2)〕 と併用。 (ゴルボ17)	土 壌 処 理	寒冷地南部以西の普通期・温暖地の早期。 〔但し、寒冷地北部はオモダカのみ適用; 発生始まで、埴土〜埴土(2cm/日以下)〕。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し、オモダカは寒冷地・温暖地東部普通期のみ。ヘラオモダカは寒冷地南部	+5〜ノビエ1.5Lまで。 〔但し、寒冷地の砂埴土では+7〜ノビエ1.5Lまで。温暖地は+3〜ノビエ1.5Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 〔但し、温暖地西	300 g/a	埴土〜埴土(2cm/日以下)。 〔但し、寒冷地南部は砂埴土(2cm/日以下)を含む。温暖地西部の早期は(1cm/日以下)〕。	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。 (2) 植付精度不良で、根が露出する水田では使用しない。 (3) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで使用

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	使用上の注意
Ⅶ 1. 初期一発処理剤 (つづき)	⑤ DPX-84 CG①粒 (つづき)			のみ。ヒルムシロは温暖地東部早期・暖地を除く。セリは温暖地東部普通期・温暖地西部のみ。アオミドロ・表層剥離は温暖地東部普通期・暖地を除く。	部早期のホタルイは発生始まで。 オモダカ; 発生始まで。 ヒルムシロ; 発生期。 セリ; 再生前～始。 アオミドロ・表層剥離; 発生前。		暖地は埴埴土～埴土(2cm/日以下)。	する。
	⑥ DPX-84 M粒 (プッシュ25)	土壌処理	温暖地東部以北の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒地以北のみ。ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。アオミドロ・表層剥離は寒地以北のみ。〕	+5～ノビエ2Lまで。 〔但し、寒地は+7～ノビエ1.5Lまで。寒冷地は+7～ノビエ2Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ; 2Lまで。 ヒルムシロ; 発生期。 アオミドロ・表層剥離; 発生前。 エゾノサヤヌカグサ; 1～4L(草丈20cm以下)。	300 g/a	砂埴土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、寒地の砂埴土は(1.5cm/日以下)。寒冷地は砂埴土を除く。〕	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので、使用はさしひかえる。
	⑦ DPX-84 M①粒 〔Ⅱ-6-(7)と併用。〕 (プッシュ17)	土壌処理	寒冷地南部以西の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・セリ・クサネム。 〔但し、オモダカ・クサネムは寒冷地南部・温暖地東部の普通期のみ。ヒルムシロは暖地の早期を除く。アオミドロは温暖地西部の普通期のみ。セリは温暖地西部・暖地普通期のみ。〕	+5～ノビエ2Lまで。 〔但し、温暖地西部・暖地普通期は+3～ノビエ2Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ; 2Lまで。 オモダカ; 発生始まで。 ヒルムシロ; 発生期。 アオミドロ; 発生前。 セリ; 再生前～始。 クサネム; 発生始～盛。	300 g/a	砂埴土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、温暖地西部の砂埴土は(1.5cm/日以下)。温暖地西部早期は砂埴土を除く。〕	(1) 著しい多雨条件下では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。 (2) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで使用する。
	⑧ HSW-871 粒 (クサホープD95)	土壌処理	寒地・寒冷地北部。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し、ミズガヤツリは寒冷地北部のみ。〕	+3～ノビエ1.5Lまで。 ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 〔但し、寒冷地北部は発生始まで。〕 ミズガヤツリ; 発生始まで。 アオミドロ・表層剥離; 発生前～始。	300 g/a	埴土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、寒地は砂埴土を含む(1.5cm/日以下)〕。	(1) 泥炭質土壌では、ウリカワに対する効果が低下することがある。 (2) 著しい高温条件下の砂埴土水田ではクロロシスの発生することがあるので注意する。

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅶ 1. 初期一発処理剤（つつき）	⑨ KUH-883 粒	土 壌 処理	寒地・寒冷地北部.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離. 〔但し、ミズガヤツリは寒冷地北部のみ。アオミドロ・表層剥離は寒地のみ。〕	+5～ノビエ2Lまで. 〔但し、寒地は+5～ノビエ1.5Lまで. ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで. ヒルムシロ; 発生期. アオミドロ・表層剥離; 発生始.〕	300 g/a	壤土～埴土(2cm/日以下).	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下するので、使用はさしひかえる.
	⑩ KUH-883 ⑩粒	土 壌 処理	寒地・寒冷地北部.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離. 〔但し、ミズガヤツリは寒冷地北部のみ。アオミドロ・表層剥離は寒地のみ。〕	+5～ノビエ2Lまで. 〔但し、寒地は+5～ノビエ1.5Lまで. ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで. ヒルムシロ; 発生期. アオミドロ・表層剥離; 発生始.〕	300 g/a	壤土～埴土(2cm/日以下).	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下するので、使用はさしひかえる.
	⑪ MT-032 粒	土 壌 処理	寒冷地以西の普通期・温暖地の早期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ. 〔但し、ウリカワは寒冷地南部・温暖地東部を除く。ミズガヤツリは暖地を除く。ヘラオモダカは寒冷地北部のみ。〕	+3～ノビエ1.5Lまで. ホタルイ・ウリカワ; 2Lまで. 〔但し、寒冷地北部は発生始まで。ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 発生始まで.〕	300 g/a	壤土～埴土(2cm/日以下). 〔但し、温暖地早期は埴壤土～埴土(1.5cm/日以下). 温暖地東部普通期は砂壤土を含む。温暖地西部は(1cm/日以下). 暖地は(1.5cm/日以下).〕	(1) 田植前に生育したミズガヤツリは完全に防除してから使用する.
	⑫ MY-93 ES粒	土 壌 処理	全域の普通期・温暖地の早期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ. 〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒地・寒冷地北部のみ。ヒルムシロは寒地・寒冷地南部・温暖地東部普通期・暖地普通期のみ。〕	+1～ノビエ1.5Lまで. 〔但し、寒冷地以北・暖地は+5～ノビエ1.5Lまで.〕	300 g/a	砂壤土～埴土(2cm/日以下). 〔但し、寒地の砂壤土は(1.5cm/日以下). 寒冷地北部は埴土～埴土(2cm/日以下). 温暖地東部早期は	(1) 泥炭質土壌では、ウリカワに対する効果が低下することがある.

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅶ 1. 初期一発処理剤 (おき)	⑫ MY-93 ES粒 (つづき)						埴壌土～埴土(1.5cm/日以下). 温暖地西部早期は埴壌土～埴土(1cm/日以下). 温暖地西部以西の普通期は(1.5cm/日以下).	
	⑬ NC-311 CG粒 (ライザ-20*)	土壌処理	温暖地東部以北の普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離. 〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く. ヘラオモダカは寒冷地以北のみ. ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離は寒冷地を除く. セリは寒冷地北部・温暖地東部普通期のみ.〕	+5～ノビエ1.5Lまで. ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 発生始まで. 〔但し、寒地は2Lまで. 温暖地東部のホタルイは2Lまで.〕 ヒルムシロ; 発生期. セリ; 再生前～始. アオミドロ・表層剥離; 発生前.	300 g/a	埴土～埴土(2cm/日以下). 〔但し、温暖地東部の普通期は砂埴土(1.5cm/日以下). を含む.〕	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので、使用はさしひかえる. (2) 植付精度不良で、根が露出する水田では使用しない.
	⑭ NC-311 CG①粒 (ライザ-15*)	土壌処理	温暖地西部の普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ.	+3～ノビエ1.5Lまで. ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ; 2Lまで.	300 g/a	埴土～埴土(2cm/日以下).	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので、使用はさしひかえる. (2) 植付精度不良で、根が露出する水田では使用しない.
	⑮ NC-311 M粒 〔Ⅱ-6-(3)と併用.〕	土壌処理	温暖地以北の普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ. 〔但し、ミズガヤツリは寒地・寒冷地北部を除く. ヘラオモダカは寒地・寒冷地北部のみ. ヒルムシロは寒地のみ. セリは寒冷地北部・温暖地普通期のみ.〕	+5～ノビエ2Lまで. 〔但し、寒地・寒冷地北部は+5～ノビエ1.5Lまで.〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで. 〔但し、寒冷地のホタルイ・ウリカワは発生始まで. 寒冷地北部のヘラオモダカは発生始まで.〕 ヒルムシロ; 発生期. セリ; 再生前～始.	300 g/a	砂埴土～埴土(2cm/日以下). 〔但し、寒冷地北部・温暖地西部は砂埴土を除く. 寒地の砂埴土は(1.5cm/日以下).〕	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので、使用はさしひかえる.

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅶ 1. 初期一発処理剤(つづき)	⑯ <u>NCM-72</u> 粒 〔Ⅱ-6-(2) Ⅱ-6-(3) と併用〕	土 壌 処 理	寒冷地北部・ 温暖地の早 期・普通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・ヒ ルムシロ・セリ. 〔但し、ミズガヤ ツリは温暖地の み、オモダカは 温暖地西部の普 通期のみ。ヘラ オモダカは寒冷 地北部のみ。ヒ ルムシロは温暖 地東部普通期・ 温暖地西部早期 のみ。セリは寒 冷地北部・温暖 地東部普通期・ 温暖地西部早期 のみ。〕	+3～ノビエ1.5 Lまで。 〔但し、寒冷地は +3～ノビエ1 Lまで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ; 2Lまで。 〔但し、寒冷地の ホタルイ・ウリ カワ、温暖地東 部のウリカワ・ ミズガヤツリは 発生始まで。〕 オモダカ・ヘラオ モダカ; 発生始ま で。 ヒルムシロ; 発生 期。 セリ; 再生前～始。	300 g/a	壤土～埴土 (2cm/日以下)。 〔但し、温 暖地東部 の早期は 埴壤土～ 埴土(1cm /日以下)。 温暖地西 部は(1cm /日以下)〕	(1) 著しい多雨条 件では除草効果 が低下する場合 があるので、使 用はさしひかえ る。 (2) オモダカ防除 は、オモダカに 有効な剤との組 み合わせて使用 する。
	⑰ <u>PSS④D</u> 粒	土 壌 処 理	寒冷地以西 の普通期・ 温暖地の早 期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・ヒルムシロ・ アオミドロ・表層 剥離。 〔但し、ミズガヤ ツリは寒冷地北 部・温暖地西部 のみ。ヘラオモ ダカは寒冷地北 部のみ。ヒルム シロは寒冷地北 部・温暖地東部 普通期のみ。ア オミドロ・表層 剥離は暖地を除 く。〕	+3～ノビエ1.5 Lまで。 〔但し、温暖地東 部早期は+4～ ノビエ1.5Lま で。温暖地東部 普通期・暖地普 通期は+3～ノ ビエ2Lまで。〕 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ; 2Lまで。 〔但し、温暖地東 部のウリカワは 発生始まで。〕 ヘラオモダカ; 発 生始まで。 ヒルムシロ; 発生 期。 アオミドロ・表層 剥離; 発生前～始。	300 g/a	壤土～埴土 (2cm/日以下)。 〔但し、温 暖地東部 早期・暖 地普通期 は埴壤土 ～埴土(1 cm/日以 下)。温 暖地東部 普通期は 砂壤土(2 cm/日以 下)を含 む。温暖 地西部は (1cm/日 以下)〕。	(1) ミズガヤツリ の多い水田では 早めに散布する。
	⑱ <u>TJM-354</u> 粒	土 壌 処 理	温暖地西部 の普通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ.	+1～ノビエ1.5 Lまで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ; 2Lまで。	300 g/a	壤土～埴土 (1cm/日以下)。	(1) ミズガヤツリ の多い水田では 早めに散布する。
	⑲ <u>TSM-344</u> 粒	土 壌 処 理	全域の早期・ 普通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・ヒルムシロ。 〔但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く。ヘラオモダ カは寒地・寒冷 地北部のみ。ヒ ルムシロは温暖 地東部早期・温	+3～ノビエ1.5 Lまで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ; 2Lまで。 〔但し、寒冷地は 発生始まで。温 暖地東部のウリ カワ・ミズガヤ ツリは発生始ま で。 ヘラオモダカ; 2	300 g/a	砂壤土～埴 土(2cm/日 以下)。 〔但し、寒 地の砂壤 土は(1.5 cm/日以 下)。寒 冷地北部・ 温暖地東 部普通期 は砂壤土	(1) 田植前に生育 したミズガヤツ リは、完全に防 除してから使用 する。

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
VII 1. 初期一発処理剤(つづき)	①⑨ TSM-344 粒 (つづき)			〔暖地西部普通期・ 暖地早期を除く。〕	Lまで。 〔但し、寒冷地北 部は発生始まで。〕 ヒルムシロ; 発生 期。		を除く。温暖地東 部早期は 埴土(1cm /日以下)。 温暖地西 部早期は 砂埴土を 除く(1cm /日以下)。 温暖地西 部普通期・ 暖地は (1.5cm/ 日以下)。	
	②⑩ TSM-612 フロアブル	土 壌 処 理	温暖地以西 の普通期・ 温暖地東部 の早期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヒルムシ ロ。 〔但し、ミズガヤ ツリは暖地を除 く。ヒルムシロ は温暖地東部普 通期・暖地普通 期のみ。〕	+3〜ノビエ 1.5 Lまで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ; 2Lまで。 〔但し、温暖地東 部のウリカワ・ ミズガヤツリは 発生始まで。〕 ヒルムシロ; 発生 期。	100ml/a	砂埴土〜埴 土(2cm/日 以下)。 〔但し、温 暖地東部 の早期は 埴土(1cm /日以下)。 暖地は (1.5cm/ 日以下)。	(1) 広葉多発田で の使用はさける。 (2) 水田全面に均 一に散布する。
VII 2. 初・中期一発処理剤	① DPX-84 B粒 〔II-6-(2) II-6-(5) と併用。 (ロザール25*)〕	茎 葉 兼 土 壌 処 理	寒地・寒冷 地北部。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・ヒ ルムシロ・エゾノ サヤヌカグサ・セ リ・シズイ・アオ ミドロ・表層剥離。 〔但し、ミズガヤ ツリ・オモダカ・ セリ・シズイは 寒冷地北部のみ。 エゾノサヤヌカ グサは寒地のみ。〕	+5〜ノビエ 2.5 Lまで。 〔但し、寒地は+ 10〜ノビエ 2.5 Lまで。〕 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2 Lまで。 オモダカ・アオミ ドロ・表層剥離; 発生始まで。 ヒルムシロ; 発生 期。 エゾノサヤヌカグ サ; 1〜4L(草 丈20cm以下)ま で。 セリ; 発生前〜始。 シズイ; 草丈0〜 3cm。	300g/a	砂埴土〜埴 土(2cm/日 以下)。 〔但し、寒 地の砂埴 土は(1.5 cm/日以 下)。	(1) 著しい多雨条 件では、除草効 果が低下する場 合があるので、 使用はさしひか える。 (2) オモダカ防除 は、オモダカに 有効な剤との組 み合せで使用す る。 (3) シズイ防除は、 シズイに有効な 剤との組み合わせ で使用する。
	② DPX-84 B①粒 〔II-6-(2) と併用。 (ロザール17*)〕	茎 葉 兼 土 壌 処 理	寒冷地南部 以西の早期・ 普通期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・ヒ ルムシロ・セリ・ アオミドロ・表層 剥離。 〔但し、オモダカ は寒冷地南部・	+5〜ノビエ 2.5 Lまで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2 Lまで。 オモダカ; 発生始 まで。 ヒルムシロ; 発生 期。	300g/a	埴土〜埴土 (2cm/日以 下)。 〔但し、寒 冷地南部 は砂埴土 (2cm/日 以下)を 含む。温 暖地西部	(1) 著しい多雨条 件では除草効果 が低下する場合 があるので、使 用はさしひかえ る。 (2) オモダカ防除 は、オモダカに 有効な剤との組 み合せで使用する

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅶ 1. 初・中期一発処理剤(つづき)	② DPX-84 B①粒 (つづき)			温暖地東部普通 期のみ。ヘラオ モダカは寒冷地 南部のみ。ヒル ムシロは温暖地 東部早期・暖地 を除く、セリ・ アオミドロ・表 層剥離は温暖地 東部普通期・温 暖地西部のみ。	セリ; 再生前～始。 アオミドロ・表層 剥離; 発生前。		の早期は (1cm/日 以下)。 温暖地は埴 壌土～埴 土(1cm/ 日以下)。	る。
	③ DPX-84 SC粒 〔Ⅱ-6-(8) と併用。 (フジグラス 25)	茎 葉 兼 土 壌 処 理	寒地・寒冷 地北部。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・ヒルムシロ・ エゾノサヤヌカグ サ・セリ・コウキ ヤガラ・アオミド ロ・表層剥離。 〔但し、ミズガヤ ツリ・セリ・コ ウキヤガラは寒 冷地北部のみ。 エゾノサヤヌカ グサは寒地のみ。〕	+5～ノビエ2.5 Lまで。 〔但し、寒地は+ 10～ノビエ2L まで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2 Lまで。 オモダカ; 2Lま で。 ヒルムシロ; 発生 期。 エゾノサヤヌカグ サ; 1～4L(草 丈20cm以下)。 セリ; 発生前～始。 コウキヤガラ; 発 生始～盛。 アオミドロ・表層 剥離; 発生始まで。	300 g/a	埴土～埴土 (2cm/日以下)。 〔但し、寒 地は砂埴 土(1.5cm /日以下) を含む。〕	(1) 著しい多雨条 件では、除草効 果が低下する場 合があるので、 使用はさしひか える。 (2) コウキヤガラ 防除は、コウキ ヤガラに有効な 剤との組み合わせ で使用する。
	④ DPX-84 SC①粒 〔Ⅱ-6-(3) と併用。 (フジグラス 17)	茎 葉 兼 土 壌 処 理	寒冷地南部 以西の早期・ 普通期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヒルムシ ロ・セリ・アオミ ドロ・表層剥離。 〔但し、ヒルムシ ロは寒冷地南部・ 温暖地西部の普 通期のみ。セリ は寒冷地南部・ 温暖地普通期・ 暖地早期のみ。 アオミドロ・表 層剥離は温暖地 東部・温暖地西 部普通期のみ。〕	+3～ノビエ2.5 Lまで。 〔但し、寒冷地南 部の砂埴土は+ 7～ノビエ2.5 Lまで。温暖地 西部以西は+5 ～ノビエ2.5L まで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ; 2Lまで。 ヒルムシロ; 発生 期。 セリ; 再生前～始。 アオミドロ・表層 剥離; 発生前。	300 g/a	砂埴土～埴 土(2cm/日 以下)。 〔但し、温 暖地東部 早期は(1 cm/日以下)。 暖地は(1.5 cm/日以下)。 温暖地西部 の早期は埴 壌土～埴土 (1cm/ /日以下)。	(1) 著しい多雨条 件では除草効果 が低下する場合 があるので使用 はさしひかえる。
	⑤ DPX-84 TD①粒 (ザークD17*)	茎 葉 兼 土 壌 処 理	寒冷地南部 以西の早期・ 普通期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・ヒ ルムシロ・セリ・ アオミドロ・表層 剥離。 〔但し、オモダカ は寒冷地南部の	+5～ノビエ3L まで。 〔但し、温暖地東 部以北・温暖地 西部早期はノビ エ2.5Lまで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ オモダカ; 2Lま で。	300 g/a	砂埴土～埴 土(2cm/日 以下)。 〔但し、温 暖地西部 早期は(1 cm/日以下)。 暖地は(1.5 cm/日以	(1) 植付精度不良 で、根が露出す る水田では使用 しない。 (2) 著しい多雨条 件では、除草効 果が低下する場 合があるので、 使用はさしひか える。

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅶ 1. 初・中期一発処理剤(つづき)	⑤ DPX-84 TD①粒 (つづき)			み。ヘラオモダカは寒地南部・温暖地東部普通期のみ。ヒルムシロ寒地南部以西の普通期・温暖地西部早期のみ。セリは温暖地西部の普通期・暖地早期のみ。アオミドロ・表層剥離は寒地南部・温暖地東部早期・温暖地西部普通期のみ。	ヘラオモダカ; 2Lまで。 〔但し、温暖地東部は発生始まで。〕 ヒルムシロ; 発生期。 セリ; 再生前～始。 アオミドロ・表層剥離; 発生前。		〔下〕。温暖地東部は砂壤土を除く。〕	(3) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで使用する。
	⑥ NC-311 B①粒 〔Ⅱ-6-(3)と併用。〕 (サーベイヤ*)	茎葉兼土壌処理	全域の早期・普通期。 〔但し、暖地の早期を除く。〕	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。オモダカは寒地北部・温暖地東部の普通期のみ。ヘラオモダカは寒地以北・温暖地西部普通期のみ。ヒルムシロは寒地・温暖地西部以西の普通期のみ。セリは全域の普通期のみ。アオミドロ・表層剥離は寒地のみ。〕	+5～ノビエ2.5Lまで。 〔但し、寒地は+10～ノビエ2Lまで。温暖地東部の砂壤土は+7～ノビエ2.5Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 〔但し、温暖地西部普通期のヘラオモダカは発生始まで。〕 ヒルムシロ; 発生期。 セリ; 再生前～始。 アオミドロ・表層剥離; 発生前まで。	300 g/a	壤土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、暖地は(1.5cm/日以下)。寒地・温暖地東部普通期は砂壤土(1.5cm/日以下)を含む。温暖地東部早期は砂埴土～埴土(1cm/日以下)。温暖地西部普通期は砂埴土～埴土(1.5cm/日以下)。温暖地西部早期は埴埴土～埴土(1cm/日以下)。〕	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので、使用はさしひかえる。 (2) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで使用する。
	⑦ NC-311 BCG粒 (イナズマ*)	茎葉兼土壌処理	全域の早期・普通期。 〔但し、暖地の早期を除く。〕	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ。 〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒地・寒地北部・温暖地西部普通期のみ。ヒルムシロは寒地・寒地北部・	+5～ノビエ2.5Lまで。 〔但し、寒地は+10～ノビエ2Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 〔但し、温暖地西部のヘラオモダカは発生始まで。〕 ヒルムシロ; 発生期。	300 g/a	砂埴土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、温暖地西部普通期は(1.5cm/日以下)。寒地・寒地北部は砂埴土を除く。温暖地東部早期は埴埴土	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので、使用はさしひかえる。 (2) 植付精度不良で、根が露出する水田では使用しない。

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅶ 1. 初・中期一発処理剤（つづき）	⑦ NC-311 BCG粒 (つづき)			温暖地東部普通 期・温暖地西部 早期・暖地普通 期のみ。セリは 温暖地以西の普 通期・温暖地西 部の早期のみ。	セリ; 再生前～始。		土～埴土 (1cm/日 以下)。 温暖地西 部普通期 は埴土～ 埴土(1cm /日以下)。 暖地は埴 土～埴土 (1.5cm/ 日以下)。	
	⑧ NC-311 BS粒 (ポルサー*)	茎 葉 兼 土 壌 処 理	全域の普通 期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・ヒルムシロ・ セリ。 〔但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く。ヘラオモダ カは寒冷地以北 のみ。ヒルムシ ロは寒地・寒冷 地北部・温暖地 東部普通期のみ。 セリは温暖地東 部普通期・暖地 普通期のみ。〕	+5～ノビエ2.5 Lまで。 〔但し、寒地は+ 10～ノビエ2L まで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2 Lまで。 ヒルムシロ; 発生 期。 セリ; 再生前～始。	300 g/a	埴土～埴土 (2cm/日以 下)。 〔但し、温 暖地西部 は(1cm/ 日以下)。 暖地は埴 土～埴土 (1cm/ 日以下)〕	(1) 著しい多雨条 件では除草効果 が低下する場合 があるので、使 用はさしひかえ る。
	⑨ NC-311 T粒 (アクト*)	茎 葉 兼 土 壌 処 理	全域の早期・ 普通期。 〔但し、温 暖地の早 期を除く。〕	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・ヒルムシロ・ セリ・アオミドロ・ 表層剥離。 〔但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く。ヘラオモダ カは寒地・寒冷 地北部・温暖地 西部普通期のみ。 ヒルムシロは寒 地・寒冷地北部・ 温暖地以西の普 通期・温暖地西 部の早期のみ。 セリは温暖地の 普通期・温暖地 西部早期のみ。 アオミドロ・表 層剥離は寒地の み。〕	+5～ノビエ2.5 Lまで。 〔但し、寒地は+ 10～ノビエ2L まで。寒冷地北 部は+5～ノビ エ2Lまで。〕 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2 Lまで。 〔但し、温暖地西 部のヘラオモダ カは発生始まで。〕 ヒルムシロ; 発生 期。 セリ; 再生前～始。 アオミドロ・表層 剥離; 発生始まで。	300 g/a	砂埴土～埴 土(2cm/日 以下)。 〔但し、温 暖地西部 普通期は (1.5cm/ 日以下)。 寒地の砂 埴土は (1.5cm/ 日以下)。 寒冷地・ 温暖地東 部早期は 砂埴土を 除く。温 暖地西部 早期は埴 土～埴土 (1cm/日 以下)。 暖地は埴 土～埴土 (1.5cm/ 日以下)〕	(1) 著しい多雨条 件では除草効果 が低下する場合 があるので、使 用はさしひかえ る。 (2) 植付精度不良 で、根が露出す る水田では使用 しない。

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅶ 1. 初・中期一 発処理剤（つづき）	⑩ NTN-831 ⑩粒	茎葉兼土壌処理	寒地のみ。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ。	+10～ノビエ2Lまで。 ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカ；2Lまで。 ヒルムシロ；発生期。	300 g/a	砂壤土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、砂〕 埴土は(1.5cm/日以下)。	(1) 植付精度不良で、根が露出する水田では使用しない。
	⑪ NTN-831 粒 (シンザン)	茎葉兼土壌処理	全域の普通期・温暖地西部以西の早期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し、ウリカワは温暖地西部普通期・暖地早期を除く。ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。ヒルムシロは寒地・寒冷地・暖地普通期のみ。アオミドロ・表層剥離は温暖地東部普通期・暖地普通期のみ。〕	+5～ノビエ2.5Lまで。 〔但し、寒地・温暖地西部・暖地早期はノビエ2Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカ；2Lまで。 ミズガヤツリ；2Lまで。 〔但し、温暖地西部は発生始まで。〕 ヒルムシロ；発生期。 〔但し、寒冷地は発生始まで。〕 アオミドロ・表層剥離；発生前。	g/a 300～400 〔但し、温暖地西部早期・暖地は300のみ。〕	埴土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、温暖地西部早期は(1cm/日以下)。暖地普通期は(1.5cm/日以下)。暖地早期は砂壤土～埴土(2cm/日以下)〕	(1) 植付精度不良で、根が露出する水田では使用しない。
	⑫ FSS-115 粒 (リードゾン)	茎葉兼土壌処理	全域の普通期・温暖地西部以西の早期。 〔但し、温暖地東部の植付け時低温地帯は除く。〕	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。ヒルムシロは普通期のみ。アオミドロは温暖地東部普通期のみ。表層剥離は温暖地東部普通期・暖地普通期のみ。〕	+5～ノビエ2.5Lまで。 〔但し、寒地はノビエ2Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ；2Lまで。 ヒルムシロ；発生期。 〔但し、寒冷地以北は発生始まで。〕 アオミドロ・表層剥離；発生前。	300 g/a	砂壤土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、暖地普通期は(1.5cm/日以下)。寒地の砂壤土は(1.5cm/日以下)。温暖地西部(四国)普通期の砂壤土は(1cm/日以下)。寒冷地・温暖地(四国を除く)普通期・暖地早期は砂壤土を除く。温暖地西部早期は埴土～埴土(1cm/日以下)〕	(1) 泥炭質土壌では、ウリカワに対する効果が低下することがある。 (2) 植付精度不良で、根が露出する水田では使用しない。 (3) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
VII 2. 初・中期一 発処理剤(つづき)	⑬ DPX-84 T粒 〔II-6-(8)〕 と併用. (ザーク25)	茎葉兼 土壌処理	寒地・寒冷地.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・セリ・アオミドロ・表層剥離・コウキヤガラ. 〔但し、ミズガヤツリ・オモダカは寒地のみ. エゾノサヤヌカグサは寒地のみ. セリ・コウキヤガラは寒冷地北部のみ.〕	+5～ノビエ2.5Lまで. 但し、寒地はノビエ2Lまで. ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで. オモダカ; 発生始まで. ヒルムシロ; 発生期. 〔但し、寒地は発生始まで.〕 アオミドロ・表層剥離; 発生前～始. 〔但し、寒冷地は発生始.〕 エゾノサヤヌカグサ; 1～4L(草丈20cm以下). セリ; 再生前～始. コウキヤガラ; 発生始～盛期.	300 g/a	壤土～埴土(2cm/日以下). 〔但し、寒地は砂埴土(1.5cm/日以下).を含む.〕	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる. (2) 植付精度不良で、根が露出する水田では使用しない. (3) コウキヤガラ防除は、コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで使用する. (4) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで使用する.
VII 3. 長期持続型一 発処理剤	① NH-725 粒	茎葉兼 土壌処理	寒冷地北部.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離.	+10～ノビエ2.5Lまで. ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ; 2Lまで. ヒルムシロ; 発生期. アオミドロ・表層剥離; 発生始まで.	300 g/a	壤土～埴土(2cm/日以下).	(1) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで使用する.
	② NH-726 粒	茎葉兼 土壌処理	寒冷地北部.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ.	+10～ノビエ2.5Lまで. ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ; 2Lまで. ヒルムシロ; 発生期.	300 g/a	壤土～埴土(2cm/日以下).	(1) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで使用する.
VIII 1. 少 量 散 布 法	① DPX-84 MQ粒 (プッシュ17)	土 壌 処 理	温暖地東部の 普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヒルムシロ.	田植前後に初期剤を少量散布した場合. +5～ノビエ2Lまで. ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ; 2Lまで. オモダカ; 発生始まで. ヒルムシロ; 発生期.	300 g/a	砂埴土～埴土(2cm/日以下).	(1) 初期剤を前処理に少量散布(200 g/a)することにより、除草効果向上. (2) 著しい多雨条件では除草効果が低下場合があるので使用はさしひかえる. (3) オモダカ防除はオモダカに有効な剤との組み合わせで使用する.

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅷ 1. 少 量 散 布	① MC-79 粒 (モーダウン)	土 壌 処 理	寒冷地・温 暖地東部普 通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ヘラオモダカ・ 〔但し、ヘラオモ ダカは寒冷地の み。〕	植代後～4. ノビエ; 1 Lまで。 ホタルイ・ヘラオ モダカ; 発生始ま で。	$\frac{\text{g}}{\text{a}}$ <u>150 ~ 200</u> (少量散布)	砂壤土～埴 土(2cm/日 以下)。	(1) 一発処理型除 草剤の前処理と して、植代後～ 4に少量散布 (150～200 g/a) が可能。
	② CG-113 粒 (ソルネット)	土 壌 処 理	寒冷地・温 暖地東部普 通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ヘラオモダカ・ 〔但し、ヘラオモ ダカは寒冷地北 部のみ。〕	植代後～4. ノビエ; 1 Lまで。 ホタルイ・ヘラオ モダカ; 発生始ま で。	$\frac{\text{g}}{\text{a}}$ <u>150 ~ 200</u> (少量散布)	砂壤土～埴 土(2cm/日 以下)。	(1) 一発処理型除 草剤の前処理と して、植代後～ 4に少量散布 (150～200 g/a) が可能。

- 注) 1. アンダーライン実線は本年度拡大された部分。点線はその一部が拡大されたものを示す。
2. 薬剤名隅の下段に商品名〔 () 内〕または農薬登録後予定される商品名を〔 () 内*印付〕を参考の為に記載した。



シンザン粒剤は、処理適期幅が広く、農作業上極めて便利です。省力化の時代に応じて、今ここに新しいタイプの初中期一発処理除草剤の誕生です。

ひと足伸びた 馬力の一発。

水田初中期一発処理除草剤

SINZAN シンザン® 粒 剤

①・住友化学工業㈱・日本特殊農薬製造㈱・三井東圧化学㈱の共有登録商標

〈シンザン普及会〉

塩野義製薬／八洲化学工業／住化アグロ／
日本特殊農薬製造／住友化学工業／
(事務局)

三井東圧化学株式会社
東京都千代田区霞が関3-2-5